

緑蔭書房

各種資料集のご案内

2026.1

掲載資料一覧

在日朝鮮人史研究／朝鮮史研究会論文集	1	ル・ジヤンドル台湾紀行	23
朝鮮史研究会会報	2	* 台湾関係資料	24
在日朝鮮人資料叢書	3	日本植民地文化運動資料	25
関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料	8	興亜教育	26
戦前朝鮮人関係警察資料集	9	鑑賞文選・綴方讀本	27
資料雑誌にみる近代日本の朝鮮認識／資料新聞社説に見 る朝鮮	10	* 教育関係資料	29
戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集／戦時下 強制連行極秘資料集(東日本篇)	11	特別支援・特別ニーズ教育の源流	28
近代朝鮮文学日本語作品集	12	「陸軍成規類聚」資料集成	30
近代日本のアジア認識	13	陸軍軍法公議判例集	32
「満洲国」の研究	14	二・二六事件裁判原本資料	33
「満州」植民地日本人用教科書集成	15	太平洋戦争メディア資料	34
「満州」植民地中国人用教科書集成	16	太平洋戦争放送宣伝資料／同盟旬報目次総覽	35
日本統治期台湾文学日本人作家作品集	17	昭和六・七年事変海軍戦史／太平洋戦争開戦前史／オーリー ストラリア国立戦争記念館所蔵旧陸海軍資料目録	36
日本統治期台灣文学台湾人作家作品集	18	B C 級戦犯関係資料集	37
日本統治期台湾文学文芸評論集	19	原水爆禁止運動資料集	38
日本統治期台湾文学集成	20	賀川ハル史料集	39
日本統治期台湾文学集成	21	賀川豊彦関係史料双書	40
日本統治期台湾文学集成	22	大日本消防協会雑誌	41
* 書名索引	48	日本報徳運動雑誌集成	42
* その他既刊資料	43	36	

朝鮮・韓国人と日本人研究者の共同研究の成果！

在日朝鮮人史研究 全四巻[創刊号～第20号]

在日朝鮮人運動史研究会編

■本体70,000円(A5判・上製クロス装・総6,700頁) 978-4-89774-231-1

全4巻の収録内容

I 創刊号（一九七七年）～第5号（一九七九年） III 第11号（一九八三年）～第15号（一九八五年）
II 第6号（一九八〇年）～第10号（一九八一年） IV 第16号（一九八六年）～第20号（一九九〇年）

■最新号（1101回年10月現在）は、第54号。▼年1回・10月刊 ▼本体2,400円 ▼第21号～27号、第36号は品切れ

研究者の歴史に応え、品切れのバックナンバーを日本にして復刻！

朝鮮史研究会論文集 全八巻[第1集～第30集]

朝鮮史研究会編

■本体1,500,000円

- [第一巻] 総776頁 本体20,000円
第一集 第一回大会特集号
第二集 青山公亮博士古稀記念号
第三集 朝鮮社会の歴史的発展
第四集 日朝関係の歴史的再検討
[第一巻] 総776頁 本体20,000円
第五集 近代朝鮮と日本帝国主義
第六集 朝鮮と帝國主義
第七集 朝鮮史における国家と民族
第八集 朝鮮民族運動の諸段階
第九集 朝鮮史認識の展開
第十集 朝鮮史発展と国際的機縫
[第五巻] 総746頁 本体20,000円
第十一集 朝鮮古代史の争点
第十二集 東アジアにおける日本と朝鮮
第十三集 朝鮮史における国家と民族
第十四集 朝鮮民族運動の諸段階
第十五集 朝鮮史認識の展開
第十六集 朝鮮史発展と国際的機縫
[第八巻] 総820頁 本体15,000円
第十七集 二十周年記念大会特集号
第十八集 李朝史の諸問題
第十九集 朝鮮の社会と思想
第二十集 植民地下民衆の生活と戦争
[第二巻] 総756頁 本体20,000円
第二十一集 朝鮮思想史の課題
第二十二集 朝鮮の民族運動と歴史的条件
[第六巻] 総972頁 本体20,000円
第二十三集 東アジアにおける朝鮮中の展開
第二十四集 甲申政変100年
[第三巻] 総756頁 本体20,000円
[第四巻] 総756頁 本体20,000円
[第七巻] 総756頁 本体15,000円
[第九巻] 総756頁 本体15,000円
[第十巻] 総756頁 本体15,000円
[第十一集] 総756頁 本体15,000円

▼最新号（1101回年10月現在）は、第62集。
▼年1回・10月刊 ▼本体3,000円
■第33集、第36集は品切れ

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼戦後の日本朝鮮史学界の歩みを克明に記録した貴重資料！

復刻 朝鮮史研究会会報

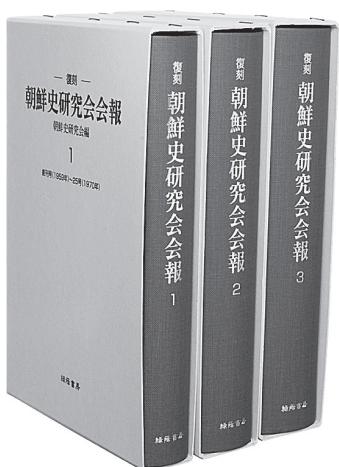
〔創刊号（1959年）～100号（1990年）〕

〈本書の特色と内容〉

- ◆ 戦後の「朝鮮史研究」及び「朝鮮史研究会」の歩みを克明に記録した貴重な史料であり、戦後日本の朝鮮史研究の歴史を知る上で必須の文献である。また、これから「朝鮮史」を学ぶ方々、特に若手研究者には最良のテキストといえよう。
- ◆ 「朝鮮史研究会論文集」に劣らない意欲的な論考・試論を多数収録している。主な記事としては、「学界動向」「問題提起」「例会報告」「研究報告・ノート」「論文紹介」「史料紹介」「書評」「文献目録」「研究の手引き」「翻訳」など。特に「書評」記事は充実している。
- ◆ 本書は、日本朝鮮史学界の「回顧と展望」であり、また戦後日本の「朝鮮史研究治革誌」である。

〔刊行概要〕

体裁 全3巻・A5判・上製クロス表装・ケース入り
定価 摂本体 42,000円+税 ISBN978-4-89774-277-9 C3320



朝鮮史研究会会報 総目録・索引
〔創刊号～100号〕

付録 朝鮮史研究会論文集 総目録・索引
〔創刊号～第46号〕

◆ 体裁 A5判・並製
◆ 定価 本体3,000円+税

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮人史 資料集

在日本朝鮮人 商工便覽

戰後初期 在日本朝鮮人 人口調查資料集

在日本朝鮮人 教育關係資料

■ 在日朝鮮人運動史研究会編
『在日朝鮮人史研究』収録の附属資料を再編集し、通覧
できるようにした。他の史料集ではみることのできない
在日朝鮮人・韓国人に関する資料を多数収録。

▼全2巻／揃本体24,000円
ISBN978-4-89774-134-5

■ 在日本朝鮮人商工連合会編 樋口雄一解説

戦後初めての本格的な在日朝鮮人の商工業実態に関する
全国的調査資料（一九五七年版）。なお、同連合会編
『調査月報』の附属資料を付す。

▼全1巻／本体6,000円
ISBN978-4-89774-135-2

■ 長澤秀編・解説

在日朝鮮人社会の構造を理解する上で不可欠な基本資料。
戦後の朝鮮人居住地域に関する詳細なデータを収録。
統計局の報告書としては未刊行の資料。

▼全2巻／揃本体36,000円
ISBN978-4-89774-138-3

■ 佐野通夫編・解説

戦後の在日朝鮮人教育の歴史・背景と問題点を通して
き、日本任教師の在日朝鮮人教育に対する取り組みや
課題、そして当該期の日本政府の在日朝鮮人教育に對
する政策や認識等を複合的に捉えることができる資料。

▼全3巻／揃本体46,000円(品切)
ISBN978-4-89774-142-0

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

朝鮮人強制動員 関係資料

在日朝鮮人 留学生資料

在日朝鮮人 警察関係資料

在日朝鮮人 生活保護資料

5 山田昭次編・解説

戦時下（一九三七～一九四五）の強制動員朝鮮人鉱夫の実態を、裁判資料、戦時労働動員聞書資料、磐石炭礦朝鮮人関係資料、「労務時報」・「日本鉱業新聞」所収朝鮮人関係記事等の新資料を中心明らかにした。

▼全2巻／揃本体24,000円（品切）
ISBN978-4-89774-145-1

6 裴姫美編・解説

一九二〇年代を中心とする朝鮮人留学生の動向を通観する初めての資料。朝鮮総督府や官憲の報告書、個人の書簡、日本と朝鮮の新聞記事、雑誌記事等種々の資料を収録。

▼全3巻／揃本体54,000円
ISBN978-4-89774-150-5

7 福井譲編・解説

鳥取県内を中心とした、朝鮮人関係の各種指示・連絡事項及び在日朝鮮人の身元照会・調査資料等を収録。治安当局の末端から捉え直すことで、当時の諸政策の実態に迫る。

▼全3巻／揃本体48,000円
ISBN978-4-89774-154-3

8 金耿早編・解説

一九四〇年代を中心に、戦後日本社会における在日朝鮮人の生活困難者層の動向（とりわけ生活保護受給者の動向）を広汎に記載した初めての資料集。生活保護問題を考える歴史的原点資料。

▼全2巻／揃本体36,000円（品切）
ISBN978-4-89774-159-8

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮女性 作品集 一九四五～八四

9 宋恵媛編・解説
一九四五年から一九七〇年頃まで（一世女性の日本語
作品のみ一九八四年まで）の間に、朝鮮語あるいは日
本語で書いたエッセイ・日記・手紙・作文・小説等を
集成した初めての作品集。

▼全2巻／揃本体32,000円
ISBN978-4-89774-162-8

関東大震災 朝鮮人虐殺裁判資料

10 山田昭次編
関東大震災時の朝鮮人虐殺に関する裁判資料として現
在知ることが可能な埼玉県と群馬県の判決書を収録。
日本政府の朝鮮人虐殺事件の事後処理政策を研究する
上で本書所収の判決書は重要な意味をもつ。
▼全2巻／揃本体36,000円
ISBN978-4-89774-165-9

資料 メディアの中の 在日朝鮮人

11 村大・韓載香・羅京朱編
一九二二～四四年迄の日本語・朝鮮語の新聞・雑誌の
中から、在日朝鮮人の動向・実態・状況を伝えた一般
紙の特集記事・連載記事・また総合雑誌の貴重な記事
を選定し、収録した。
▼全1巻／本体18,000円
ISBN978-4-89774-167-3

神奈川 朝鮮学校資料

12 大石忠雄編
今日の朝鮮人学校問題の原点であり設立・解散・再建
をたどる苦難の歴史と問題を理解するための好古の
歴史的資料。神奈川県立公文書館所蔵の第一次資料
（一九四五～六二）を中心編集復刻した。
▼全2巻／揃本体36,000円
ISBN978-4-89774-170-3

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

朝鮮人強制動員 韓国調査報告

在日朝鮮人文学

資料集 一九五四～七一

日本朝鮮研究所 初期資料 一九六一～六九

『セチヨソン』

地方版

一九五〇～五五

ISBN978-4-89774-177-0

▼A4判／全2巻／揃本体46,000円

16 鄭栄相編・解説
朝鮮戦争のさなか在日朝鮮人により結成された非公然組織「祖国防衛全国委員会」の機関紙。長らく幻の存在であった地方版と全国版で未復刊分を収録した。五〇年代の在日朝鮮人運動史の貴重な記録。全記事目録付。

13 龍田光司編・解説

常磐炭田に戦時中強制動員された朝鮮人の実態の解明と、いわきの一市民研究家が十年間に亘り、韓国で生存者や死亡犠牲者の遺族から直接、強制動員の実情や残された人たちの生活を聞き取り調査した報告書。

▼全2巻／揃本体36,000円
ISBN978-4-89774-173-4

14 宋惠媛編・解説

一九五〇年代半ばから六〇年代を中心に行はれた、多彩な在日文学雑誌（大村文学、朝鮮文芸、文学活動、韓國文芸、鳳仙花文芸等全一七誌）を収録した初の資料集。戦後の在日朝鮮人文学研究に不可欠の資料群。

▼全3巻／揃本体56,000円
ISBN978-4-89774-177-2

15 井上學・樋口雄一編

戦後日本における朝鮮近現代史研究の発展は、日本朝鮮研究所の活動が大きな力となつた。戦後日本の朝鮮研究はどの様な形で新たな出発をし、どの様な課題を抱えていたのか、創設期及び初期の内部資料を収録。

▼全3巻／揃本体54,000円
ISBN978-4-89774-181-9

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮文学会

関係資料 一九四五～六〇

ISBN978-4-89774-188-8

■宇野田尚哉編・宋惠媛解説

一九四五年の解放から一九六〇年までの在日朝鮮人の文学的営みの問題点と作品を知る貴重な資料である。本書は当該期の在日朝鮮人作家が多数所属していた「在日朝鮮文学会」の機関誌を中心収録した。

▼全3巻／揃本体54,000円

在日朝鮮人国勢調査

資料 一九四〇

■木村健二編・解説
一九四〇年の『国勢調査』(内閣統計局)のうち第二表「内地在住ノ朝鮮人」の統計原表を収録した。太平洋戦争下を除き、戦前の在日朝鮮人の年令別、産業別、職業別、性別、全国的な実態を伝える唯一の資料。

▼全2巻／揃本体38,000円
ISBN978-4-89774-191-8

在日朝鮮人

ハンセン病資料

■金貴粉編・解説
『在日韓国・朝鮮人ハンセン病患者同盟支部報』(一九六一～一九六二)を収録。朝鮮人ハンセン病患者への諸差別・政策と闘つた記録。入所者の動向解明は日本社会の差別の制度の検証にも不可欠の資料。

▼全3巻／揃本体60,000円
ISBN978-4-89774-195-6

在日朝鮮人文学 統一在日朝鮮人文学 資料集 一九四六～六〇

■宋惠媛／宮本正明編・宋惠媛解説
朝鮮戦争が始まると同時に日本社会と在日朝鮮人社会の大きな変化が起きた。朝鮮青年達は何を思考し、どのような未来を描いたのか。既刊に続く在日朝鮮人社会・文化・文学関連資料。補巻は17の未収録資料を収録。

▼全2巻・補巻1／揃本体60,000円
ISBN978-4-89774-199-6

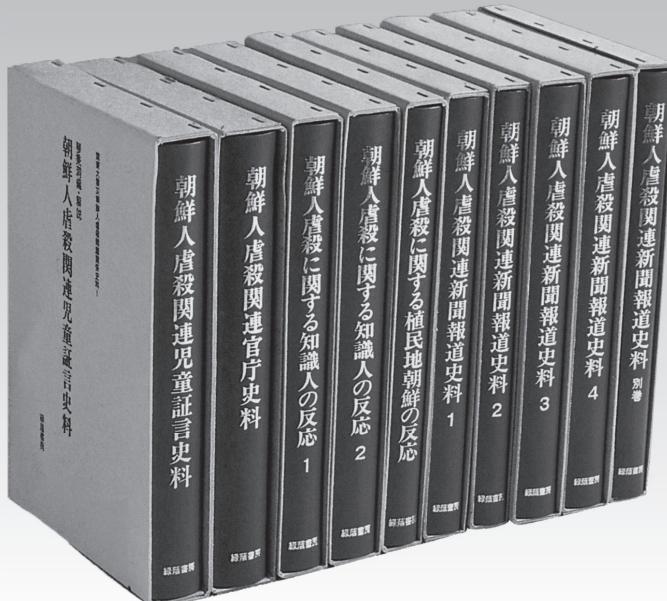
叢書最終刊

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

関東大震災下の朝鮮人虐殺事件に関する史料を集大成。

よみがえる『朝鮮人虐殺』の実態！



関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料（全V巻）

I 朝鮮人虐殺関連児童証言史料

琴秉洞編・解説 大震災直後に、東京・横浜の児童達が綴った未公開作文（約三百編）を収録。朝鮮人虐殺の直接・間接の証言集。

■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・610頁

■全1巻／本体19,000円+税(978-4-88774-238-6)

II 朝鮮人虐殺関連官庁史料

琴秉洞編・解説 政府・陸海軍・警察の対応を海軍省史料をはじめ、東京・神奈川その他府県の史料によって構成。再現した。

■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・640頁

■全1巻／本体19,000円+税(978-4-88774-238-1)

III 朝鮮人虐殺に關する知識人の反応

琴秉洞編・解説 当時の雑誌、新聞、単行本、官報、文書等に掲載された見聞記、日記、評論等を体系的に収録し検証する。

■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・747頁

■全2巻／本体40,000円+税(978-4-88774-238-0)

IV 朝鮮人虐殺に關する植民地朝鮮の反応

琴秉洞編・解説 朝鮮人虐殺事件に關する反応と影響を、総督府関係機密史料と「東亜日報」「京城日報」等の新聞報道を中心に編纂。

■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・580頁

■全1巻／本体19,000円+税(978-4-88774-238-8)

V 朝鮮人虐殺関連新聞報道史料

山田昭次編 解説 新聞は朝鮮人虐殺事件をどのように報道したか。流言の出所及び、その伝播により起つた全国各地の権力や民衆の動向を、さまざまな側面から追じた新聞記事を体系的に集成した。

■編集復刻／B5判・上製クロス装・ケース入り・2,240頁
■全4巻・別巻1／本体98,000円+税(978-4-88774-238-8)

緑蔭書房

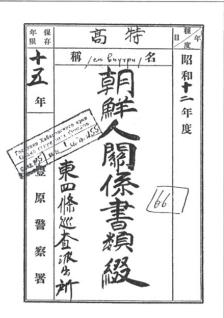
〔消費税が別途加算されます〕

全4巻

樺太厅警察部文書 戦前朝鮮人関係警察資料集

長澤秀編・解説

本書はロシア連邦サハリン州国立公文書館所蔵の樺太厅文書の内、朝鮮人に対する日本の警察中央及び南樺太警察の厳しい管理と統制の実態を示す資料を収めた。研究者未見！



一九〇五～四五年の朝鮮人関係資料
及び戦争末期・敗戦直後の樺太の
状況資料を含む、計八三二件、約三〇
〇〇頁を収録。又、炭鉱資料として貴
重な樺太炭鉱資料（外務省外交史料館
蔵）等も収録！

■編集復刻版（B5判・上製クロス装・ケース入り）
本体80,000円(678-489714270-0)

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

朝鮮にみる近代日本の雑誌資料

—韓国併合期前後—

琴秉洞編・解説

全巻の構成

- | | |
|-----|----------------------------|
| 第1巻 | 保護条約締結以前期（明治34・12～明治38・12） |
| 第2巻 | 統監政治期上（明治39・1～明治41・12） |
| 第3巻 | 統監政治期下（明治42・1～明治43・7） |
| 第4巻 | 併合条約締結期（明治43・8～明治43・12） |
| 第5巻 | 併合初期（明治44・1～大正3・9） |

内容▼全50巻「全30誌収録」

体裁▼A5判・上製クロス装・ケース入り

頁数▼総約2,000頁

定価▼本体9,000円+税（分割不可）

ISBN978-4-89774-241-0 C3021

近代日本の朝鮮認識の形成を明治期のオビニオン・リーダーである新聞社説によつて通史的・体系的に見ることのできる西期的な新聞集成。

新聞社説に見る朝鮮資料

—征韓論～日清戦争—

北原スマ子・園部裕之・趙景達・長谷川直子・吉野誠＝共編
全巻の構成

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 第1巻 | 横浜毎日新聞 |
| 第2巻 | 東京日々新聞 |
| 第3巻 | 朝野新聞・大阪毎日新聞 |
| 第4巻 | 郵便報知新聞・読売新聞 |
| 第5巻 | 時事新報・日本 |
| 第6巻 | 大阪朝日新聞・東京朝日新聞・自由新聞・東雲新聞・国民新聞・万朝報・二六新報 |
| 別冊 | 朝鮮関係社説目録 |

内容▼全15巻「全15紙収録」十別冊
体裁▼B5判・上製クロス装・ケース入り
頁数▼総約2,000頁
定価▼本体15,000円+税（分割不可）

ISBN978-4-89774-223-6 C3021

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

石灰統制会極秘文書

戦時下中朝鮮人強制連行資料集

【全四巻】

長澤秀編・解説

戦時下（昭和17～20年）、朝鮮人・中国人・連合軍俘虜の強制連行による全国の主要炭鉱（樺太を含む）の詳細な労務統計と労務管理の実態を示す極秘内部資料を体系的に収録、編纂したものである。本資料は今までそのほとんどなどが研究者未見の資料群で、日本政府の朝鮮人強制連行政策や、外国人俘虜に関する非人道的政策の解明に光を当てる第一級の第一次資料である。

□各巻の構成

- I 朝鮮人強制連行関係 「統計編」
 - ▼収録史料 一〇件 三四四頁
- II 朝鮮人強制連行関係 「文書編」
 - ▼収録史料 四三件 二八四頁
- III 中国人強制連行関係
 - ▼収録史料 四一件 三六八頁
- IV 連合軍俘虜関係
 - ▼収録史料 百数件 四八〇頁

□体裁

B5判上製／クロス装函入／一、五七六頁
本体八〇〇〇〇円(978-4-89774-209-0)

石灰産業内部文書

戦時下強制連行極秘資料集

【東日本篇／全四巻】

長澤秀編・解説

朝鮮人労働力の確保から日本への移送、炭礦での日々の教育訓練、勤務状況、食住環境から健康、被災、逃亡の状況等労務管理・統制の実態と敗戦後の朝鮮人の動向、帰鮮状況を当事者の綴る克明な記録、内部文書によって初めて明らかにする。

□各巻の構成

- I 樺太府行政文書／北海道立労働科学研究所・研究調査報告／福島県庁行政文書／他
 - ▼収録史料 二〇四件 約四一〇頁
- II 住友礦業(株)歌志内礦業部資料1
 - ▼収録史料 三八件 約三八〇頁
- III 住友礦業(株)歌志内礦業部資料2／常磐炭礦(株)関係資料／他
 - ▼収録史料 二三三件 約三八六頁
- IV 石灰鉱業運合会文書／石灰統制会東部文書／戦時下常磐炭田の朝鮮人鉱夫殉職者名簿／他
 - ▼収録史料 一五一件 約三八二頁

□体裁

B5判上製／クロス装函入／一、五三八頁
本体八〇〇〇〇円(978-4-89774-229-8)

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

戦時下朝鮮人 労務動員基礎資料集

朝鮮労務

樋口雄一編・解説 太平洋戦争下朝鮮における戦時労務動員の実態を示す初の基礎資料集。労務動員の法的資料、農村の農民移動資料、労働力基礎調査資料及び、労務資源調査を中心とした総督府の公文書資料等を収録した。

- 編集復刻版(A5判・上製クロス装・ケース入り)
全5巻／本体90,000円(978-4-89774-246-8)

庵治由香監修・解説 昭和一六年、朝鮮総督府の労務対策協力団体として設立した「朝鮮労務協会」の幻の機関誌。戦時下朝鮮の労働力動員政策の推進に大きな役割を担つた。植民地末期の史実解明に貴重な第1級資料。

- 復刻版(A5判・B5判・上製クロス装・ケース入り)
全4巻・別冊1／本体66,000円(978-4-89774-246-5)

朝鮮総督諭告・訓示集成

水野直樹編・解説 韓国併合から日本敗戦、朝鮮解放までの全時期を通して、歴代の朝鮮総督の諭告・訓示類を時系列に編集した待望の資料集。植民地支配全般(政治・経済・社会・教育など)の研究に必備。

- 編集復刻版(A5判・上製クロス装・ケース入り)
全6巻・別冊1／本体120,000円(978-4-89774-251-9)

樋口雄一編・解説 朝鮮総督府支配下の朝鮮で刊行された、農民の生活状況(食と栄養・健康・階層分布・自然災害・言動・抵抗)が分かる文書資料を中心に編集。本資料は、日本の植民地支配の本質を示すものである。

- 編集復刻版(A5判・上製クロス装・ケース入り)
全4巻／本体80,000円(978-4-89774-130-7)

戦時下朝鮮民衆の生活

戦時下在日朝鮮人 新聞資料[東亜新聞]

外村大編・解説 戰時下の動向を、在日朝鮮人自身が発行したえた唯一の記録「東亜新聞」。現存するすべて(全一一四号・昭和一四年七月一日～一八年三月五日)を公刊する。日本政府の対朝鮮人政策、朝鮮人の対応を知る貴重な資料。

- 復刻版(A4判・上製クロス装・ケース入り)
全3巻／本体75,000円(978-4-89774-234-2)

大村益夫・布袋敏博編

近代朝鮮文学日本語作品集

全三期・全23巻・揃本体 266,000円

第一期【1939-1945】全9巻

近代朝鮮文学の最も暗黒の時期の作品を集成。日本語の作品が集中的に発表され、朝鮮近代文学が最高の極みに達した時代—李光洙、金史良など141人、473編収録。

■創作篇 全6巻／揃本体 68,000円／ISBN978-4-89774-031-7 C3097

■評論・随筆篇 全3巻／揃本体 36,000円／ISBN978-4-89774-032-4 C3097

第二期【1901-1938】全8巻

第二期は、1901年～38年までに朝鮮人によって書かれた日本語の作品と、日本語に翻訳された作品を集成。李人稙、崔承喜、金東仁、張赫宙など191人、442編収録。

■創作篇 全5巻／揃本体 56,000円／ISBN978-4-89774-059-1 C3097

■評論・随筆篇 全3巻／揃本体 34,000円／ISBN978-4-89774-060-7 C3097

第三期【1908-1945】全6巻

第三期（セレクション）は、第二期で未収録だった詩・詩論と、原作が一九三八年以前に書かれ三九年以降に翻訳発表された作品、それに『國民新報』掲載の作品を中心に、選択・構成し、集成した。朱耀翰、鄭芝溶、韓龍雲、李石薰、韓雪野、李孝石など252人、900編以上収録。

■セレクション 全6巻／揃本体 72,000円／ISBN978-4-89774-080-5 C3390

植民地朝鮮史研究の第一級の資料がここにある 南富鎮

（静岡大学人文学部教授）

『近代朝鮮文学日本語作品集』（第一期）・（第二期）が、大村益夫・布袋敏博両氏によって刊行されて以来、私はいつも両作品集をそばに置いて、時間的余裕があるたびにぱらぱらめくつている。植民地期の朝鮮研究において手放せないバイブルのような資料集だからである。第一期の刊行に際し、私はその圧倒的な量に驚愕した。従来から言われたいわゆる『親日文学』としての日本語小説が、これほど多く、これほど多彩な作家によって書かれたことに大いに驚かされたのである。第二期の刊行が終わった時、最初の驚きはようやくつまり、かえって平然とした気持ちでこれらの作品を読み始めた。作品集をひもとくと、植民地期朝鮮の歴史・思想・文化・社会などに幅広くわたっている。本書はそうした意味で際限のない広がりをもつていているといえる。

今般、さらに第三期（全6巻）が刊行される。第三期には注目すべき作品が多く収録されている。小説では翻訳作品が多数掲載され、朝鮮語作品と日本語作品を比較検討する作業の必要性を示唆する。また朱耀翰、鄭芝溶、李石薰などの日本語詩作も多く収録され、両言語における相互関連状況を窺わせる。評論では、当時の朝鮮の文学状況を克明に示す重要な作品が多く見られ、さらには金史良の書翰などをはじめ、今まで未確認の貴重な資料も多数収録されている。

本作品集は、ひとえに大村益夫・布袋敏博両氏の長年の研究調査によつてようやく結実したもので、近代朝鮮の研究や理解において欠かすことの出来ない第一級の資料集といえる。まさに資料の宝庫なのである。朝鮮にかかる文学・歴史・社会・文化などに興味のある読者・研究者たちに、ぜひ一読をお勧めしたい。第一期でも第二期でも第三期でも、その順序は構わない。

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

多角的視点から総体的に捉え直した画期的な試み！

本書の目次内容

近代日本のアジア認識

アジア認識の基軸（山室信）

思想基軸としての文明／思想基軸としての人種

アジア主義とその周辺（古屋哲夫）

アジア主義の出発点／对外発展の条件と方向をめぐって／第一次大戦と中国認識／アジア・モン

ロード主義と石井・ランシング協定／インドへの開

心／文明論とアジア主義

日清戦前の中国・朝鮮認識の形成と外交論（伊藤之雄）

維新後の中国・朝鮮に対する日本の優越意識の形

成／天津条約後の中国認識の変動と列強に対する危機感

開港場・租界からみた「アジア」（奥村弘）

神戸又新日報の性格について／「又新」の情報入手のルートをめぐって／清國および清国人認識の位相／反転像としての社会的文明開化主義／認識されない「アジア」

近代日本の朝鮮認識（里上龍平）
台湾協会の設立をめぐって／台湾協会学校の設立と委遷／台湾協会会報「東洋時報」にみられる台湾・台湾人認識／台湾人からみた日本人的台湾認識

近代日本の朝鮮認識（里上龍平）

台湾協会政治と在朝日本人／東邦協会会報」といふ意味／「東京經濟雑誌」にみる朝鮮／雑誌「朝鮮」にあらわされた朝鮮觀／移住案内類にあらわれた朝鮮觀

教育雑誌にみるアジア認識の展開（尾崎ムゲン）

日清戦争から日露戦争期に至るアジア認識／日露戦争後の東洋精神と「清露経年」／韓国併合から第二次世界大戦期のアジア認識

天津租界・天津居留民国／日本人社会／排日運動をめぐって

東西文明論と日中の論壇（石川禪造）

古屋哲夫／原華山／若原華山／悲壯なる精神」と李大釗の「青春」／中國における「東西文化問題論」／日本の東西文明論／日中における東西文明認識の位相

キリスト者に現われたアジア認識（武邦保）

植村正久と柏木義円／一九一〇年の朝鮮とキリスト者／一九一九年の朝鮮人殺害事件に触れて

柳田國男のアジア認識（福井直秀）

インドネシア／「政治」としての「南洋」／「南洋」をどうするか／比較民俗学

一九一〇年代日本・朝鮮・中国における「アジア」認識の一面（水野直樹）
「大東亜共栄圏」構想その構造（山本有造）
「大東亜共栄圏」構想の成立／「大東亜建設審議会」について／「大東亜建設審議会」答申における「大東亜共栄圏」構想／議批判の論調／中国における「大東亜建設審議会」の公

社会学者の戦時の「アジア論」（秋元義和）

問題の所在／「日本資本主義奄美史講座」から戰時下へ／民族主義への傾斜／中国研究への参加／

戦争協力への理論的参加／思想と反省／東亜共栄圏／構想

マルクス主義史学と「アジア」認識（永井和紀）

馬克思主義史学と「アジア」的停滞性論／初発の形態／「アジア」的停滞性論のアボリヤ／歴史

学研究会と「世界史の基本法則」／中国史研究者の模索／江口邦郎の修正理論／遠山茂樹の「世界

史像の再構成」

【執筆者一覧】

古屋哲夫／山室信／伊藤之雄／奥村弘
吳宏明／里上龍平／尾崎ムゲン／桂川光正

石川禪造／武邦保／福井直秀／水野直樹
石本有造／秋元義和／永井和

◆A5判／上製クロス表紙／縦724頁
◆定価／本体18,000円＋税

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

◆京都大学人文科学研究所の共同研究成果報告書

「満洲国」の研究



本書の目次内容

- 第一回 「満洲國」の成立
- 日本政府の對中華民國、國民政府および「滿洲」認識
／張良政権下の権力主義的政治統合／張良政権下の民族主義的經濟政策
- 第二回 「満洲國」の創出（古屋臣五郎）
- 満洲建國路線の形成、建國過程の諸侧面／満洲國の基本構造
- 第三回 「満洲國」統治体制（山本有造）
- 満洲國治の問題性／統治システムの模索と展開／統治意図の発現態／人事配置／満洲國の位相
- 第四回 「満洲國」統治（山本有造・副官昭）
- 満洲國内と外法権構成／附屬行政権移行構想／司法改革／治外法権の第一次撤廃／治外法権の最終的撤廃／附屬行政権の移譲
- 第五回 地方統治における満洲國和会の展開（井村哲郎）
- 山村への協和会分立の構造的な込み／第1次全国連合協議会での議事の特質／統治經濟による地域把握の変化と協議会／政府・協議会二位体制の意味
- 第六回 「満洲國」経済の展開
- 第七回 「満洲國」をめぐる内外經濟關係の展開（山本有造）
- 文部省京賞について／文部省京賞授賞者とその作品／文部省京賞から見る満洲國文学の一侧面
- 第八回 「満洲國」經濟開拓（山本有造）
- 第一次幣制統一期／第2次幣制統一期／資金供給期／補助／満洲國開拓における金融引継続／資金再融通期／補助／満洲國開拓における満鉄の資金の分析
- 第九回 「満洲國」の鐵道（古屋臣五郎）
- 満洲國の鐵鋼業開拓／満洲國經濟（松本俊彦）
- 第十回 開拓地の税制制度（山本有造）
- 分断された開拓園／「満洲國」成立直後の開拓政策／立派作業／満洲國開拓／般方資本／要綱／開拓率改正経過と日満開拓協定締結の教訓／開東州特殊開拓
- 第十五回 「満洲國」開拓資料（井村哲郎）
- 補遺／中國の「満洲國」開拓資料／井村哲郎
- 第十四回 「満洲國」開拓資料復刻状況／中国東北における戰後の日本語資料／主要な書籍・档案館の所蔵状況
- 新装版一覧
- 新装版刊行にあたって
- ・誤植等の訂正と一部を加筆した。
- ・元版を99%に縮小し、A4判とした。
- ◆山本有造編
- ◆山本有造／上製クロス装／総644頁
- ◆定価II 本体17,000円+税



緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

竹中憲一（早稲田大学教授）編・解説

「満州」植民地日本語教科書集成

全7巻

近年、戦前・戦中期の日本植民地教育史は、調査・研究の諸方面で大きな進展と成果を示している。資料の面では、教科書資料についてみれば植民地内居住の日本人子弟に対するものが中心であった。一方、日本の植民地教育・言語政策の根幹をなす植民地民衆に対する日本語教育・啓蒙の実態を知るための日本語教育資料は、これまでほとんど体系的に示されることとはなかつた。

今回刊行する公的日本語教科書・教師用指導書は、「満州」及び「満州国」で主として中国人に対し、どの様な教科書を使用して、どの様な教育をしようとしていたのか、その実態を示す第一級の日本語教育史資料である。さらに「満州」のみならず、日本植民地教育史の空白を補う資料として大いに活用していただければ幸いである。

●刊行概要（編集復刻版）

- 第1巻【初級教材】全16冊／第2巻【初級教材】全12冊
第3巻【中級教材】全12冊／第4巻【高級教材】全8冊
第5巻【高級教材二】全8冊／第6巻【速成教育教材】全9冊
第7巻【満州国教科書】全14冊

●B5判・上製クロス表・ケース入り

（一頁に四面付とし、全79冊を縮小して収録した）

定価＝挿本体1,200,000円+税（分売不可）
ISBN978-4-89774-508-4 C3337

●推薦します

- 上野田鶴子（東京女子大学現代文化
学部教授）
奥津敬一郎（東京都立大学名誉教授）
甲斐睦朗（国立国語研究所所長）
木村宗男（元早稲田大学教授・元日本
語教育学会副会長）

金田一春彦（国語学者）

佐治圭三（京都外国语大学契約教授）

宮島達夫（国立国語研究所名誉所員）

吉岡英幸（早稲田大学大学院日本語教
育研究科委員長）

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

竹中憲一（早稲田大学教授）編・解説

「満州」植民地中国人用教科書集成

全8巻

戦後60年、既に大半が破棄され、散逸した旧「満州」関係の教科書を、広く国内外に探し求め、「満州」における植民地教育の実態を示す根本資料。教科別に日本語教科書・中国語教科書・教師用指導書及び掛け字教材などを体系的に編纂した。当時、日本と異民族同化教育はどの様に行われたのか、その核心の資料を「満州」植民地日本語教科書集成の続編として公刊する。

（尚、主要な中国語教科書には対訳を付した）

●刊行概要（編集復刻版）

- 第1巻「修身教科書」全12冊
- 第2巻「修身教科書」全3冊
- 第3巻「国語教科書」全12冊
- 第4巻「国語教科書」全12冊
- 第5巻「歴史・地理教科書」全14冊
- 第6巻「理科・農業・体育・図画教科書」全20冊
- 第7巻「算術・唱歌教科書」全21冊
- 第8巻「中国教科書・掛け字教材」+解説 全2冊

B5判・上製クロス装・ケース入り
（二面に四面付とし、全96冊を縮小して収録した）

定価

148,000円

+税

（分売不可）

●推薦します

阿部 洋（国立教育政策研究所名誉所員）

佐藤尚子（広島大学教授）

佐野通夫（西園学院大学教授・日本植民地教育

史研究会代表）

●おすすめしたい方

『満州植民地日本語教科書集成』のご購入者をはじめ、日本教育史・日本語教育研究者、民族教育研究者、国語研究者、大学図書館・公共図書館、及び関係研究機関など



ISBN4-89774-510-1 03037

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼植民地台灣文學、近代日本文學の空白をうめる初の本格的作品集へ2刷

日本統治期台灣文學 日本人作家作品集

中島利郎・河原功編 〈新装版〉

全五巻・別巻一

西川満、濱田隼雄、坂口櫻子、中山侑、川合三良の代表作を編集復刻。
別巻では内地作家（12名）が台湾を描いた作品を収録した。
台湾文学研究に必読の基本資料である。

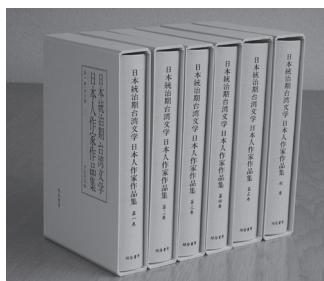
〔本書の構成〕

第一巻	西川満Ⅰ	中島利郎編	480頁
第二巻	西川満Ⅱ	中島利郎編	514頁
第三巻	濱田隼雄Ⅰ	河原功編	480頁
第四巻	濱田隼雄Ⅱ	河原功編	510頁
第五巻	坂口櫻子・中山侑・川合三良	中島利郎編	624頁
別巻	〔内地作家〕 河原功編	628頁	
	宇野浩二・佐藤春夫・伊藤永之介	中村地平・真杉静枝	
	田村泰次郎・北原日秋・大鹿卓	野上弥生子・窪川（佐多）	
	稻子・丹羽文雄・広津和郎		

〔推薦〕 下村作次郎・藤井省三・松永正義
〔体裁〕 編集復刻版・四六判・上製クロス表・ケース入り・総3、244頁
〔定価〕 摘本体＝15,000,000円（分売不可）
ISBN978-4-89774-020-1 C3391

一九七八年台湾において戒嚴令が解除されて以降、台湾に関するあらゆる分野の研究が盛んになった。それは台湾のみにとどまらず日本においても然りである。
文学の分野にあっても葉石濤『台湾文学史綱』や前衛出版社『台湾作家全集』を始め『巫永福全集』『呂赫若著作集』『張深切全集』など個人作家の著作集や全集が（この他にも楊達全集）や『黃得時著作集』もまた多く出る刊行され、また日本でも研文出版、田畑書店や東方書店などより翻訳書や資料集、研究論文集が出版されている。ただ、いずれも台湾人作家の作品、あるいは研究が主で、日本人作家に関するものはほとんどないといってよい。戦後はともかく、戦前の台湾文学界には百名以上の日本人作家がいて作品を残し、台湾の近代文学構築の一翼を担っていたのであるが、いまはほとんどの作家が忘れ去られようとしている。

本叢書『日本統治期台灣文學 日本人作家作品集』では、それら日本人作家の代表作を通覧閲覧できるようにして、かつ研究資料としても使用できるようできる限り初出の形態で復刻し（一部編集復刻）、作家年譜なども付録とした。戦前の日本本土の著名な作家たちの台湾觀をも概観できるように「内地作家」を別巻とし、台湾文學のみならず日本文学の立場からの研究にも利便をはかつた。



* 新装版では表紙のクロスに、ダイニックのアートベラムEを使用しました。

綠蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼植民地台灣で活躍した台湾人作家たちの初の本格的作品集(2刷)

日本統治期台灣文學 台灣人作家作品集

中島利郎・河原功・下村作次郎・黃英哲編 〈新装版〉 全五巻・別巻一

本書は既刊『日本統治期台灣文學日本人作家作品集』の続編で、楊達・呂赫若・龍瑛宗・張文環などの代表作を中心に「日本語作品」を集成した日本で最初の本格的な台湾人作家の作品集である。また、別巻には発禁も含め資料的価値の高い「中国語作品」を一括収録した。今後の台湾文学研究の基本資料として活用していただきたい。

〈本書の構成〉

第一巻	[楊達]	河原功編	438頁
第二巻	[呂赫若]	黃英哲編	424頁
第三巻	[龍瑛宗]	下村作次郎編	444頁
第四巻	[張文環]	中島利郎編	380頁
第五巻	[諸家合集]	河原功／中島利郎編	416頁

- 台湾人作家の「日本語作品」を通覧閲読できるよう「」に集成した。
- 入手・閲覧の難しい作品を多く収録した。
- 別巻には発禁も含め資料的価値の高い「中国語作品」を一括収録した。
- 研究資料としての側面を考慮し、オリジナルな形での復刻に留意した。
- 台湾人文学研究の手引として、作家の略歴、著作年譜、研究文献目録、作品解説を付した。
- 台湾文学の基本文献として、また台湾植民地研究の深化にも貴重な資料である。



* 新装版では表紙のクロスに、ダイニックのアートペラム E を使用しました。

別 卷	[諸家合集＝中國語作品]	下村作次郎／黃英哲編	460頁
	[蔡愁洞・陳虛谷 馬木樞・尚未央 張慶堂・張我軍 朱点人]	楊千鶴・葉仁濬・周金濬	
	[吳火泉・賴明弘 王祀雄・翁闊・巫永福 吳希聖・吳新榮]		
	[吳濁泉・楊千鶴・葉仁濬・周金濬]		
	[推薦] 尾崎秀樹・川村湊・陳芳明		

〔推薦〕尾崎秀樹・川村湊・陳芳明
〔体裁〕編集復刻版・四六判・上製クロス表・ケース入り・総2,560頁
〔定価〕揃本体価5,000円+税 (分売不可)
ISBN978-4-89774-025-6 C3397

綠蔭書房
〔消費税が別途加算されます〕

日本統治期台灣文學 文芸評論集

全五卷

中島利郎・河原功・下村作次郎編 〈新装版〉

体裁 編集復刻版・A5判・上製クロス装・総2100頁

定価 汎本60,000円+税(分売不可)

ISBN978-4-89774-030-0 C3397

本評論集は既刊の「日本統治期台灣文學」日本人作家作品集及び台湾人作家作品集の姉妹編である。台湾の近代文学の創作は、日本の領台ほぼ三〇年を経た一九一〇年代初頭に始まり、一五年以降に盛んになる。それに関連して文芸評論も出るが、本格的な台灣文學に関する作家作品論の登場は、二三年の「フォルモサ」創刊以後、楊逵の「新聞副連」が日本の文壇で話題となつて以降であり、四〇年代に入り「台灣文壇の成熟期」を迎えて創作の増加とともになつて文芸評論は最盛期を迎える。しかし、それらは台灣においていかなる近代文學を生み出すか、「台灣文學をいかに表記するか」といつて所謂「新文學論争」及び「鄉土文學論争」に関わる論争が生んであつた。台湾の文壇は、その成熟期にあっても一人の職業作家も産み出さなかつたし、勿論、一人の職業的文芸評論家もいなかつた。しかし、彼らはそれに対する反対するうえに、台灣の土壤という土壤に根ざし、台灣の錯綜の歴史上に自らの文学的當為を育んでいった。台灣文學は台灣という土地を愛した作家たちの結晶といえる。そして、時には正面より時には正面よりそれを支援したのが文芸評論であった。

本資料集は、以上に挙げた論争をも含み、編著三人が閲覧した広義の文芸資料類(但し、新聞等は除く)を網羅的、編年式に収録し「文芸評論集」と名付けて刊行するものである。

■台灣における文芸評論が始まった一九一〇年代より四五五年終戦までの日本統治期台灣の文芸関係を中心とした評論類(雑誌三〇誌、総四八五編)一部中文を含む)、執筆者三〇名)を網羅した。

■本評論集は、日本植民地文學の初めての文芸評論集で、今回収録した台灣文芸評論の作品群は他に見ることは難しく、現時点において台灣文芸評論集の決定版である。

■台灣の文學運動・文芸界の流れを通覧できるように基本的に編年體とした。

■本評論集は作品・作家の紹介・批評、文學運動論、文芸論争、文學界・演劇界的動向、文芸諸雑誌の紹介を満載。日本統治期台灣文學研究に必須の資料集である。

■研究資料としての側面も考慮してオリジナルな形で復刻(編集復刻も含む)した。

■本書未収録論文も網羅した「日本統治期台灣文學文芸評論目録」「執筆者名索引」「解説」を付し研究者の便をはかつた。

関連図書



日本統治期台灣文學 研究文献目録

中島利郎・河原功・下村作次郎編 日本統治期の台湾で活躍した代表的な台湾人・日本人作家の著作目録・研究文献目録と当時の主要文芸誌目録、及び戦後の日本における台湾文学研究の現状を鳥瞰できる目録を収録。
本体12,000円(A5判)



日本統治期台灣文學小事典

中島利郎編・著 主要な台湾人作家、日本人作家、文学関連事項等、約300項目及び、「写真で見る日本統治期台灣文學小事典」を収録。
本体9,000円(A5判)

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

日本統治期台灣文學集成

新発掘の作品や新たな研究分野の作品群を網羅した画期的文学集

第一期 全20巻	
[1] 台湾長篇小説集一	■ 挿1-89,000円
下村作次郎編『紅塵龍瑛宗』	*
[2] 台湾長篇小説集二	*
中島利郎編『山茶花張文環』	8,800円
[3] 台湾長篇小説集三	*
河原功編『争ひぬ運命林輝焜』	9,800円
[4] 台湾短篇小説集一	*
中島利郎編『生死の海』西川満編『萩』濱田雄雄編	9,600円
[5] 台湾純文学集一	*
星名宏修編『婆御體類慶』「山茶花」巫永福、「過渡期」王育德、「部落日記」楊雲祥、他三七編	9,600円
[6] 台湾純文学集二	*
星名宏修・中島利郎編『霧映』小野文朗、「池畔の家」新田由一、「霧の大陸」田代和也、「泥鰌柴田杜夜子」「男の気持」陳華培	9,600円
[7] 台湾通俗文学集一	*
中島利郎編『夢の紅塵』竹田左之「島人」「空は赤い」大野倭文子、「山行かば」小島泰介	8,800円
[8] 台湾通俗文学集二	*
中島利郎編「泥鰌柴田杜夜子」「男の気持」陳華培、「愛機に結ぶ」大庭貞二郎、他一八編	8,800円
[9] 台湾深偵小説集一	*
中島利郎編「事件の犯人」北城下を駆す「飯岡刑事談」白金坂の行衛」座光東平、他一五編	9,000円
[10] 台湾戯曲・脚本集一	*
河原功編『夜明の歌』「童化劇脚本集」軍夫の妻』「百萬人の手引」他三編	9,800円
[11] 台湾戯曲・脚本集二	*
河原功編「簡単な喜劇の演出方法」「脚本軽く出来る青少年劇脚本集 第一輯」	9,400円
[12] 台湾戯曲・脚本集三	*
河原功編『青年演劇脚本集 第一輯』『青年演劇脚本集 第二輯』	9,800円
[13] 台湾戯曲・脚本集四	*
中島利郎編『謫居は吉村敏』「一つの矢弾」吉村敏	9,400円
第二期 全10巻	
[14] 台湾戯曲・脚本集五	*
中島利郎編『阿風の脚本』幸田青緑、「南方発展史 海の豪族真公川傳・片桐勝男、他二六編	9,600円
[15] 台湾隨筆集一	*
河原功編『美はしき背景』尾崎考子	8,600円
[16] 台湾隨筆集二	*
中島利郎編「下村作次郎編『感想集』」	9,400円
[17] 台湾隨筆集三	*
中島利郎編『胡人の句ひ』金闇文美、「たかみの藤」丸井妙子	10,000円
[18] 台湾詩集	*
河原功編『森の道』王白淵、「その日暮の中から」上忠司、「南方の果樹園」黒木謹子、「山河」楊雲萍	10,000円
[19] 葉歩月作品集一	*
下村作次郎編『長生不老』、「白鳥の殺」他九編	8,000円
[20] 葉歩月作品集二	*
下村作次郎編『七色の心』葉蕙忠、周原朗校訂	11,000円
[21] 台湾鉄道作品集一	*
中島利郎編『台湾鐵道』塙道、官浦直介、「探偵小説二将軍の壁画」福田昌夫、「彈道」河北肇雄、他九編	9,400円
[22] 台湾鉄道作品集二	*
中島利郎編『台湾鐵道』塙道、官浦直介、「百聞百見記」河原功編「機関車の錯覚」柯設岱、「百聞百見記」西川満、「笑福圓蔵」「龍瑛宗」他五〇編	9,400円
[23] 台湾新報・青年版作品集	*
中島利郎編「光の中に」高山正人、「品君の結婚」龍瑛宗、「連じき群像」周金波、他三四編	9,800円
[24] 台湾漢文通俗小説集一	*
黄英哲編『侯鴻齋』李逸清、「蟹花江」吳漫沙、他	9,800円
[25] 台湾漢文通俗小説集二	*
黄英哲編『侯鴻齋』李逸清、「蟹花江」吳漫沙、他	9,800円

〈写真は第一期分〉



*は品切れです

中島利郎・河原功・下村作次郎監修
◆全二期・全30巻——揃本体 285,000円
体裁=四六判・上製クロス装・ケース入り

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

日本統治以前期の台灣を知る貴重な記録。

ル・ジヤンドル 台灣紀行



ル・ジヤハドル
(Charles W. Le Gendre, 奈仙得)

編纂にあたって

我部政男

我部政男 「山梨学院大学教授」編
栗原 純 「東京女子大学教授」編

原題 = 「李氏台灣紀行」全11巻
底本 = 国立公文書館所蔵本

全四巻 「四六判・上製クロス装」

第一巻(第一回～第7回収録) 400頁
第二巻(第8回～第10回収録) 416頁

第三巻(第11回～第22回収録) 440頁

第四巻(第23回～第27回収録) 410頁

▼解説は第四巻の巻末に入ります。

ある。

本資料は原本、訳本とも国立公文書館にしかないもので、今回、全冊復刻刊行にあたって訳本（和
縦本、縦26・5センチ×横19センチ）を四六判に縮小し、合本にあたっては原本英文目次を参照した。
今後の台湾研究に広く活用されることを期待します。

〔足注〕

本体600,000円+税 (分売不可)
ISBN978-4-89774-240-3 C3030

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

台灣大年表

〔復刻版〕
〔編集復刻版〕

改訂増補 臺灣六法

〔復刻版〕

■ 日本統治下台灣五十年の動向が鳥瞰できる唯一の年表。日誌大年表→台灣經世新報社編「台灣大年表」を底本とした。
 ■ 日 誌→台灣總督府編「台灣時報」卷末の「台灣日誌」を採録
 ■ 本体16,000円(B5判・上製クロス装・ケース入り)

『台灣日日新報』近代文學 關係作品目錄

〔昭和編〕
〔一九二六～一九四四〕

中島利郎・横路啓子編 日本統治期最大の日刊紙『台灣日日新報』に掲載された近代文學関係作品（小説・隨筆・評論・詩・児童文学・書評・コラム・戯曲）を網羅。台灣文學研究者はもとより、日本近代文學研究者図書館に必備。

■ 本体30,000円(B5判・上製クロス装・ケース入り)

『台灣民報・台灣新民報』 総合目録

中島利郎・横路啓子編 本誌は、台灣總督府關係の重要な雑誌の中ではこれまでその内容が殆ど知られていないかった機関誌。大正六年から昭和一九年まで『台灣警察協會雑誌』『台灣警察時報』と改題を経て、総三三八号刊行された。

■ 本体32,000円(全2巻・A5判・上製クロス装・ケース入り)

『台灣警察協會雑誌』 『台灣警察時報』総目録

中島利郎・林原文子編 本誌は、台灣總督府機関誌の中でも最大の雑誌。『台法月報』(一七冊)、『法院月報』(四四冊)、及びその改題誌『台法月報』(四三冊)、合わせて全五〇四冊の総目録。植民地法制史研究に必要な工具書。

『台法月報』総目録

中島利郎・宋官靜編 本誌は、台灣總督府機関誌の中でも最大の雑誌。『台法月報』(一七冊)、『法院月報』(四四冊)、及びその改題誌『台法月報』(四三冊)、合わせて全五〇四冊の総目録。植民地法制史研究に必要な工具書。

■ 本体18,000円(A5判・上製クロス装・ケース入り)

日本植民地文化運動資料 1~12

植民地満洲の學術出版の実相を克明に記録、
昭和激動期の文化状況を伝える総合書評誌／

香書

全10巻・別冊1 満鉄大連図書館編
大正14年4月→昭和19年12月刊 全16冊
解題『稻村徹元 本体価格140,000円』

北窗

満洲文芸、北方文化に関する貴重な記事・作品、文献・資料を紹介した総合文化誌／
解題『西原和海 本体価格80,000円』

収書月報

全15巻・別冊1 満鉄哈爾濱圖書館編
昭和14年5月→昭和19年3月刊 全26冊
解題『西原和海 本体価格80,000円』

4 滿洲讀書新報

満洲文化の向上を企図して刊行された唯一の
読書雑誌／
全20巻・別冊1 満洲讀書新報会編
昭和11年2月→昭和18年9月刊 全95冊
解題『小黒浩司 本体価格1,320,000円』

8 総動員

朝鮮における皇民化・内鮮一体を促進し、総督府の文化統治政策を担つた聯盟の機関誌／
全4巻・別冊1 国民精神統動員朝鮮聯盟編
昭和14年6月→昭和15年12月刊 全19冊
解題『宮田節子 本体価格720,000円』

12 旬刊台新

太平洋戦争末期台湾の代表的プロパガンダ誌。
当時の社会や時代精神を知る貴重な雑誌／
全12巻・別冊1 台湾新報社編
昭和16年11月→昭和20年5月刊 全39冊
解題『河原功 本体価格480,000円』

日本植民地最大にして戦前では日本最大の図書館報。待望の完全復刻版／

文獻報國

全12巻・別冊1 朝鮮總督府圖書館編
昭和10年10月→昭和19年12月刊 全10冊
解題『藤田豊 本体価格240,000円』品切

6 中國文化情報

日中戦争期の中国研究に欠けていた学術・文化史の側面の資料を埋める貴重な記録／
全6巻・別冊1 上海自然科學研究所編
昭和12年5月→昭和16年12月刊 全31冊
解題『阿部洋 本体価格108,000円』

7 協和運動

日本帝国主義による「満洲国」支配の実態と「協和会」の全容解明に久しく待れた第一級史料／
全20巻・別冊1 満洲帝國協和会編
昭和14年6月→昭和20年4月刊 全68冊
解題『風間秀人 本体価格400,000円』

9 朝鮮時論

内鮮一体の融和を標榜する一九二〇年代の朝鮮統治に批判的な論陣を張った稀有な雑誌／
全12巻・別冊1 朝鮮時論社編
大正15年6月→昭和2年9月刊 全10冊
解題『高柳俊男 本体価格38,000円』

10 滿洲放送年鑑

満洲及び日本植民地下の放送事業の全体像を
知ることでできる貴重な年鑑／
全12巻 満洲電信電話株式会社編
昭和14年版・昭和15年版 全2冊
解説『北山節郎 本体価格36,000円』

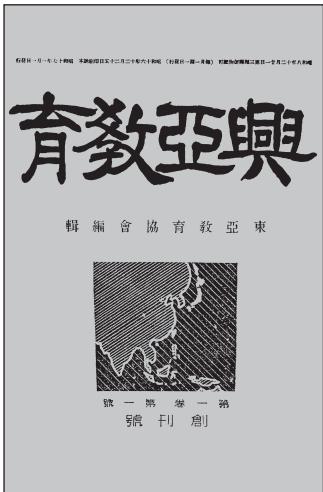
緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

学界・教育界を総動員して

日本植民地教育の絶頂期の
言説を示した国策雑誌。

興亞教育



本書の構成

1巻

1巻1号(17年1月)～1巻3号(17年3月)全3冊

2巻

1巻4号(17年4月)～1巻6号(17年6月)全3冊

3巻

1巻7号(17年7月)～1巻9号(17年9月)全3冊

4巻

1巻10号(17年10月)～1巻12号(17年12月)全3冊

5巻

1巻1号(18年1月)～2巻4号(18年4月)全4冊

6巻

2巻5号(18年5月)～2巻9号(18年9月)全5冊

7巻

2巻10号(18年10月)～3巻3号(19年3月)全6冊

8巻

3巻4号(19年4月)～4巻4号(20年4月)全12冊

刊行概要

▼佐藤広美（東京家政学院大学助教授）監修・解説

▼東亜教育協会編

▼全8巻十別冊1（解説・総目次・執筆者索引）

▼A5判・総3500頁・上製クロス表装

▼定価＝定価＝挿本体140,000円+税 分売不可

本誌は、大東亜共栄圏期に日本帝国の教育理論（大東亜教育論）や教育政策を論じ、日本やアジア各地の教育事情を詳しく報じた雑誌。今回小社は、「興亞教育」とその改題誌「教育維新」全三九冊を完全収録し、復刻刊行する。

ISBN978-4-89774-500-0

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

『赤い鳥』系の文芸主義と拮抗し、全国の子供たちに当時最も読まれた幻の学年別児童雑誌が八十年の歳月を越えて甦る！

監修＝中内敏夫（一橋大学名誉教授）——全巻完結

鑑賞文選 綴方讀本

復刻

- 巻数＝全16巻（総5600冊 総220,000頁・別巻一
- 体裁＝A4判（一頁に原本を収録）・上製クロス表紙・ケース入り
- 定価＝挿本体3998,000円+税 ISBN978-4-89974-511-X C33327
- 別巻のみ分売可＝本体1-8,000円+税 ISBN978-4-89974-532-9 C3037



作文・綴方教育史。
児童文学史の欠落部分を補う幻の雑誌の復刻

日本人の

忘れられた記憶、
ぬり込められた
体验の数々を
端ばしに秘める

まさに壮大な作文・
綴方教育のパノラマ



- 推薦＝大田 喬（東京大学名誉教授）
- 竹内常一（国學院大学名誉教授）
- 中野 光（中央大学名誉教授）
- 平岡さつき（共愛学園前橋国際大学准教授）
- 上 笠一郎（児童文学研究者）

- 三上達也（日本作文の会常任委員長）

大正～昭和の児童文化・社会に大きな影響を与えた生活綴方の原点

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼現代日本教育の「格差・貧困」「発達・障害」を考える原典史料！

史料・日本近代と「弱者」 第1集

◆編集復刻版◆

高橋智（東京学芸大学教授）・前田博行・石川衣紀編

特別支援・特別ニーズ教育の源流

鈴木治太郎の教育改革と適能教育論

近年の日本では子どもの生活と学習・発達をめぐる「格差・貧困」の諸問題が激化・深刻化しており、子どもの多様な貧困・ニーズへの十全な対応と発達保障に向けた新たな教育・特別支援教育の創出がめざされている。本史料集は戦前に大阪師範付属小主事で大阪市視学となつた鈴木治太郎が取り組んだ一連の特別な教育的な配慮（適能教育）を、「生活の貧困」「発達の貧困」という二つの教育問題への対応策として再評価し、明治（昭和の児童の多様な貧困・ニーズ）を鈴木がどの様に把握・認識し、どの様な教育対策・指導法を開発したかを提示し、その現代的意義・教育の原点等を明らかにすることを意図するものである。

▲配本概要▼

◆第一回配本 ◆ 摂定価＝本体六〇,〇〇〇円

第1巻 明治期の画一的教育批判と「特別学級」の試み

大正期大阪の都市教育問題1

第2巻

戦前における鈴木治太郎の小学校教育改革

の実践と特別な教育的配慮のシステム開発

◆A5判・上製・総約四,〇〇〇ページ

◆ 摂定価＝本体二〇〇,〇〇〇円+税 [分売不可]

ISBN978-4-89774-562-8
◆推薦＝木村一元（一橋大学大学院社会学研究科教授）

◆おすすめしたい方

日本教育史・障害者教育史・社会事業史・心理学史の研究者、大学・公共図書館、教育研究機関など

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

教育新聞

戦後最初の教育新聞。志垣寛主宰、教育新聞社刊。昭和20年12月～22年5月「全71号」。戦後初期の教員の生活や政治意識の実態、教育の民主化や新教育の実践の動向、大日本教育会解散や教員組合運動の動向、子供の実態等の記事を幅広く収録。

全1巻 「復刻版・A4判・上製クロス装」
梶村光郎監修／解題 本体26,000円 978-4-89774-505-3

戦前教育科学運動史料

戦前の民間教育研究運動の最後の拠り所となつた教育科学研究会の機関誌『教育科学研究』と山下徳治編集の『教材と児童学研究』を収録。総力戦体制下の民間教育運動の課題、状況を知る第一級の史料。

全2巻 「編集復刻版・A5判・上製クロス装」
佐藤広美・高橋智編／解説 本体32,000円 978-4-89774-501-5

教育関係資料

國語創造

志垣寛主宰の本誌は、戦後いち早く発行された国語教育雑誌。昭和21年から24年まで全13冊刊行され、戦後初期に推進された民主的な国語教育の状況を伝えた。戦後国語教育史研究・生活綴方教育史研究等に不可欠の文献。

全2巻・別冊1 「復刻版・A5判・上製クロス装」
梶村光郎監修／解説 本体36,000円 978-4-89774-504-6

農村教育研究

大西伍一を中心下中弥三郎、江渡秋嶺、土田杏村など多数の教育実践家が参加した農村教育研究会の「研究雑誌」である。当時の政治・教育思想を知るための不可欠の文献。原本の所蔵機関はわざかで全巻揃いの所はない。

全3巻・別冊1 「復刻版・A5判・上製クロス装」
小林千枝子監修／解説 本体57,000円 978-4-89774-503-9

教育科學

本誌は1947年に同学社に設立された教育科学研究会が創刊し、通算30号発行されたが、原本散逸のためこれまでほとんど言及されてこなかった「幻の教育雑誌」。戦後初期の教育史研究にとつて決して見逃せない注目すべき資料。

全4巻・別冊1 「復刻版・A5判・上製クロス装」
梶村光郎監修／解説 本体68,000円 978-4-89774-507-7

綠蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

陸軍に関する諸法規及び関連諸資料を網羅した「陸軍法令全書」!

▼陸軍大臣官房編纂による日本陸軍の根幹資料

全4集

「陸軍成規類聚」資料集成

森松俊夫(監修) / 松本一郎(編・解説)

▼(第一集)

陸軍成規類聚

陸軍大臣官房編纂
底本 昭和一九年八月第三六版

■本書の構成

第一巻▼第一類(憲法・皇室)/第二類(官制) 第一巻上▼第三類(兵役・召集・補充) 第二巻下▼第四類(官等・分限・補任・名簿)/第五類(賞典・恩給・救恤)/第六類(服務・休暇) 第三巻▼第七類(会計・経理) 第四巻▼第八類(教育・検閲・演習)/第九類(儀礼・婚姻・葬祭)/第十類(服制・徽章)/第十一類(文書・報告)/附録 別巻▼索引・解説他

「陸軍成規類聚」とは、陸軍に関する諸法令・諸規則すなわち法律・命令・軍令・省令・訓令・達・告示・陸普(通牒など)を関連項目ごとに類別して編纂。陸軍のある活動の基準となつた根拠文書であり、巨大組織「日本陸軍」の機構を支えた法令集である。小社では、「昭和版」「別冊」「明治版」として公刊する。また、「陸軍成規類聚」の概説書として「研究資料」を付した。

■主な法令・法規等の一覧

大日本帝国憲法・皇室典範・内閣官制・陸軍省官制・帝国在郷軍人会規程・陸軍航空本部令・陸軍兵器行政本部令・陸軍技術研究所令・參謀本部条例・教育監督部令・大本営令・陸軍兵事部令・俘虜情報局官制・俘虜収容所令・軍指令部令・憲兵令・憲兵服務規程・閏東軍司令部条例・軍隊内務令・陸軍士官学校令・陸軍兵器学校令・兵役法・陸軍補充令・陸軍順位令・陸軍武官進級令・陸軍志願兵令・陸軍召集規則・恩給法・軍事扶助法・官吏服務紀律・軍隊經理規程・化学兵器手当支給規則・俘虜給与規則・軍隊教育令・憲兵隊教育綱領・陸軍礼式令・陸軍服制・陸軍服装令・兵器要務書・平時携帯兵器表・陸軍伝染病予防規則・赤十字条約解釈・軍馬資源保護法・軍事郵便規則・国防保安法・治安警察法・軍機保護法・軍用資源秘密保護法・要塞地帯法・防空法・煙火管制規則・戒厳令・国境取締法・徵発令・國家総動員法・陸軍徴用規則・戦時刑事特別法・陸軍懲罰令・陸軍刑法・陸軍司法警察執務心得・俘虜処罰法・陸軍軍法會議法・陸軍監獄令・陸軍公文書規則・陸軍報告規程等々

■「昭和版」の特色

▼底本とした原本は陸軍大臣官房図書閲覧室所蔵版で、戦後に「法制改廃委員」が使用したものである。原本は全六巻であるが、復刻版では、第一巻を2分冊として、別巻には解説のほかに、第一巻登載の「索引」を収録した。また、各類の冒頭にある目次を複写集成し「類別総目次」として利用者の検索の便を図った。附録資料として昭和二〇年の重要「法令」を収録した。

▼「昭和陸軍」の全貌(制度・組織・機構等)を解明するための基本資料である。

■刊行概要

- 復刻版
- 全7巻・別巻1(解説・附録資料・類別総目次・索引・イロハ索引)
- 総7700頁/A5判・上製・クロス表・ケース入り
- 抽本体180,000円 ISBN978-4-89774-286-1

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

軍事 陸軍成規類聚 別冊

陸軍大臣官房編纂／底本 昭和一六年版

■「別冊」の特色

▼昭和一六年に発行された本書（全一巻）は、成規類聚で公開できない軍事秘密の軍令・通達などを収録する。底本は偕行社所蔵版。最終追録第二回（昭和十九年一月）。

▼本書は、その存在すら知る人が少ない。国会図書館にも収納されていない本邦初公開の文献であり、軍制に関する新たな研究の糸口となるであろう。

■全一巻／A5判／上製／クロス装／箱入り／総1000頁／本体18,000円 ISBN978-4-89774-294-6

▼(第三集)

陸軍成規類聚 明治版

陸軍大臣官房編纂／底本 明治四四年一月第六版

■「明治版」の特色

▼陸軍では最初の加除式による「明治四〇年版」を基盤とする第六版（明治四四年・全一巻）を底本（『靖国儀行文庫所蔵』とした。日露戦争後の陸軍軍制を知る上で必須の資料である。

▼本書（第六版）は第三〇回追録まで加除済の台本で、幸いにもその後の追録加除が全くなされていない。したがって、収録法令等すべてが発行時現在（四四年）のものである。

▼各類には「質議回答録」が附録として収録され、利用者の便に役立つ。

▼原本は全一冊（総1260頁）であるが、復刻版では、三分冊とした。

■全3巻／A5判／上製／クロス装／箱入り／総3000頁／本体60,000円 ISBN978-4-89774-295-3

「陸軍成規類聚」研究資料

収録資料

I 「陸軍軍制史梗概」山崎正男著（底本「國家総動員史・史料篇」）

II 「山崎正男氏対談記（原題「軍制とやまと話」）／底本・雑誌『偕行』」

III 「陸軍軍制史話（原題「軍制とやまと話」）／底本・雑誌『偕行』」

▼山崎正男氏（明治三三—平成五）は陸三三三期で長年、軍制にかかわる業務に従事され、戦後においても復員に伴う法制の改廃業務に関係された。

緻密な頭脳と抜群の記憶力の持ち主で、成規類聚の神様・生き字引と称された。成規類聚の研究者としては、この人の右に出る者はいない。

読む文献

■「山崎正男氏対談記」と「陸軍軍制史話」

に関する興味深い話が詳細に展開されており、読む人をして飽きさせない。まさに、昭和陸軍軍制史詳論ともいえる好著であり、久しく復刻が待望されていた文献である。

■全一巻／A5判／上製／クロス装／箱入り／総3000頁／本体18,000円 ISBN978-4-89774-299-1

◆推薦します

山本卓貞
(偕行社会長)

大東信祐
(元防衛研究所戦史部長)

宮崎繁樹
(元防衛研究所戦史部長)
(明治大学元総長・名誉教授)

原剛
(軍事史学会副会長)

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼知られる軍法会議の実態…
今回、初めて軍法会議の裁判記録(判決書)を関連資料と共に掲載する。

陸軍軍法会議 判例集

全四巻

推薦 遠藤芳信（北海道教育大学
日本政雄（防衛大学校
体裁 防衛学教育学群准教授）
A5判・上製・クロス袋・ケース入り・総2400頁
定価 本体90000円+税（分売不可）
ISBN978-4-89774-311-0

—本資料集の構成—

- 1 陸軍軍法会議判決錄 第一巻 松島邦夫編
2 陸軍軍法会議判決錄 第二巻 松島邦夫編
3 陸軍高等軍法会議判例集 憲警研究会編
4 陸軍高等軍法会議判決要錄 陸軍高等軍法会議編

◆参考資料（4巻に収録）

陸軍刑法・陸軍軍法会議法
◆関連資料（4巻に収録）

陸軍軍法会議関係諸法規
陸軍刑法部長会同決議綴

軍法会議法研究 近衛師団軍法会議

陸軍軍法会議廃止に関する顛末書 復興局

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼事件の全体像を把握する上で不可欠な第一級一次史料である

『判決書綴』『訴訟記録目録』の原本を公刊する！

▼本資料の内容と刊行の意義

▼今回刊行する「判決書綴」・「訴訟記録目録」は、東京地方検察庁が保管する「原本」の「一版」である。

▼「訴訟記録目録」は、今回初めて公刊する資料である。

▼「訴訟記録目録」は、「二・二六事件訴訟記録原本（全六六巻及び別冊）」の内、五三二巻までの如記録目録を収録した。（五四巻以降は不起訴処分者の記録）

松本一郎編

二・二六事件裁判原本資料 全2巻



体裁 一頁四面付・B5判・上製クロス表
定価 本体36000円+税 (分売不可)
ISBN978-4-89774-317-2 C3331

二・二六事件 判決書綴 二・二六事件 訴訟記録目録

—— 東京陸軍軍法会議 ——

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

開戦・終戦時における日本の 対外報道と米国傍受記録集成

北山節郎編・解説

太平洋戦争 メディア資料

全2巻

Ⅰ開戦—真珠湾攻撃と対外報道

Ⅲ終戦と対外報道

本書の構成

太平洋戦争メディア資料Ⅰ

I 解説

- 一 「ハワイ奇襲第一報」——消された? 大本営発表
開戦ニュース／ハワイ攻撃発表／香港攻撃発表／開戦
詔書発布時間／付録～太平洋戦争開戦大本営発表文比較
- 二 米傍受記録に見る12月8日の日本側報道米側傍受記録
／トランスクリプト研究
- 三 「ニシノカゼ、ハレ」
ウインド・メッセージの原文は?／フルテキストさがし／天気予報傍受
- 四 極東国際軍事裁判と開戦の放送
放送録音盤と録音記録／ラヂオ報道記録「報道部ニュース係」ヨリノ抜粹
- 五 同盟報道
- II 資料——68件収録(次頁参照)

太平洋戦争メディア資料Ⅲ

I 解説

- 一 二つのラジオ・トウキョウ
二 黙殺
ポツダム宣言傍受／外国紙が伝えた第1回黙殺報道／

鈴木首相の「黙殺」発言／トルーマンが読んだ傍受記録とは?

III 原爆

- FBI Sが記録した同盟の「第1報」／東亜放送の広島被爆連続報道／トルーマンの原爆投下声明
- 四 ソ連参戦
ソ連参戦を海外に速報／ラジオ・トウキョウも速報／
戦闘第一報／大本営発表
- 五 最初の「聖断」と広島その後
公電発信時間の疑問／米軍の外交電報解読／傍受され
ていた国内放送／原爆抗議
- 六 待つ日々
米側回答／回答を待つアメリカ
- 七 8月15日
ポツダム宣言正式受諾／アメリカが記録した玉音放送
／米海軍が翻訳した終戦詔書／大屋久壽雄の知られざ
る大放送
- 八 敗戦直後の日本とメディアの解体
原爆被害キャンドペーンとアメリカの反発／ラジオ・ト
ウキョウ海外放送中止／特派員情報ストップ／同盟解体
- II 資料——241件収録(次頁参照)

刊行概要——

- ◆ 体裁 B5判・上製クロス装・ケース入り
- ◆ 定価 摺本体 68,000円+税(分売不可)

すいせん——

- 有山輝雄(成城大学教授)
- 竹山昭子(昭和女子大学教授)
- 向後英紀(NHK文化放送研究所)
- 田村紀雄(東京経済大学教授)

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

◆北山節郎編

太平洋戦争放送宣伝資料

戦時期の放送は国家の宣伝機関であった。情報局が対敵電波戦を指導し、最初に大東亜戦争田の正当性と「大東亜建設」の真義を欧米、アジア各地に伝えた。本資料集所収の『海外放送講演集』『対敵電波戦』は対外宣伝戦の中心をなす「講演放送」の全貌を明らかにする貴重な資料。戦時メディア史、日本の大東亜戦争観を示す一次資料。

◆本書の構成

第1巻	〔部外秘〕	『海外放送講演集』	第二号	昭和17年6月
第2巻	〔部外秘〕	『海外放送講演集』	第三号	昭和17年9月
第3巻	〔部外秘〕	『海外放送講演集』	第四号	昭和17年12月
第4巻	〔秘〕	『対敵電波線』第一号	昭和16年12月～17年11月	

◆体裁

A5判・上製クロス装・総1,300頁・ケース入り

◆定価

本体価格64,000円+税

ISBN978-4-89774-235-9

◆推薦

内海愛子〔惠泉女子大学教員〕

櫻本富雄〔詩人〕

竹山昭子〔メディア史研究〕

戦前の新聞には反映されることができなかつた「日本及び世界」の記録

同盟旬報 目次総覧

北山節郎監修・解説

同盟通信社編 昭和12年から終戦迄の「同盟旬報」の「記事目次」を収録。戦時メディア史、昭和史研究の基礎資料。とくに日中戦争史の記録は克明である。

全2巻(上巻・下巻)／本体価格48,000円／ISBN978-4-89774-022-5

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

はじめて公刊される満州事変・上海事変の海軍正史。

昭和六七年事變海軍戦史

全四卷
別巻一

重機 海軍軍令部編／監修・解説＝田中宏巳・影山好一郎

本資料の特色



関連書

第二復員局残務処理部編

田中宏巳（たなか・ひろみ）
一九四年 長野県松本市生まれ
一九七四年 早稲田大学大学院博士課程
滿期退院。現役：防衛大学校教授
(主張著作)
東郷平八郎（ひがしぐわいぱちろう）
（著者）
影山好一郎（かげやま・こういちろう）
一九四年 大阪府大阪市生まれ
一九七一年 防衛大学校及び研究科卒業
現在：防衛大学校教授
(主要著作)
（近著）日本戦争史（著者 同台経済懇話会編他）

刊行概要（復刊版 A5判 上製クロス装 約六〇〇頁（折込含む））
第一巻＝戦紀卷一（重機）
二三三六頁
一一〇四八頁
第三巻＝戦紀卷三（重機）
二三三六頁
第四巻＝付録【国際関係（秘）】
六一四頁
別巻一＝総目次（重機）十解説 約一三〇頁
定価 汎本体九六〇、〇〇〇円十税（分冊不可）

■ 原本は米議会図書館が唯一所蔵しているもので、今回
が日本初公刊。（刊行にあたっては田中宏巳氏所蔵のマ
イクロフィルムを使用した）
■ 原本は保存状態が大変悪い（閲覧に堪えられない無惨
な状態）ため、その内容を確認できるのは本書のみで
ある。
■ 本戦史は「重機」という秘匿度が最も高いものであつ
たたまに天皇をのぞき高級将校でもその存在を知
るものは殆んどいなく、今日まで研究者未見の史料で
あつた。

■ 本戦史には敗戦直後の焼失によって、今日現存しない
多くの貴重な文書・史料が含まれ、又上海事変をとり
まく国際関係文書を多数収録している。
■ 今回の出版によって、満州事変・上海事変の厚いペー
ルに包まれていた史実の詳細が初めて明らかになった。
満州事変・上海事変の戦史研究はもとより、国際政治
史・外交史・在華邦人史・抗日運動史等に欠かせない
正に第一級の資料である。

■ 今回本書には、軍機の中心資料である「戦紀卷一・卷
二・卷三」とその補完資料「付録」国際関係・国際関
係参考文書・及び「総目次」を収録した。

■ 資料的価値を考慮し、原則として、影印復刻とした。

太平洋戦争開戦前史

開戦迄の政略戦略

◆ オーストラリアに残る旧日本軍資料の全貌を明かす新資料
オーストラリア国立戦争記念館所蔵

旧陸海軍資料目録

田中宏巳編 本書は、連合軍がニューカレドニアで
島で捕獲・蒐集した資料と戦後のラバウル収容
所の生活に関する資料の目録と解説を収載。太
平洋戦争・改戦後の抑留・引き揚げ実験研究のた
めの貴重な手引書。

本体 15,000円（A5判 上製クロス装）



軍令部

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

田中宏巳編・解説

BC級戦犯 関係資料集

日本人は戦犯問題とどう向きあつたのか。戦犯裁判と釈放の経緯と実態を新発掘資料と外務省所蔵資料で実証する。太平洋戦争における戦犯関係の基本資料であり戦後国際政治史・外交史研究にも欠かせない重要資料。

■第1・2巻は新発掘資料／陸軍関係戦犯者の出身地・裁判地・罪名・判決・服役地・釈放・家族の情報を都道府県別に網羅した唯一の資料 ■第3～6巻は連合国各戦の戦犯裁判の問題・実態をはじめ釈放の経緯や問題点を時系列で理解できる様に資料を構成した。

■第1巻■戦争裁判と諸対策並びに海外における戦犯受刑者の引揚

厚生省引揚援護局法務調査室編[復刻版]

定価 本体 15,000 円 ISBN978-4-89774-313-4

体裁 B5判・上製・約340頁

● おすすめしたい方
・日中戦争史研究者、国際政治史・
外交史・法学研究者、日本近現代史
・アジア史研究者・大学図書館など

■第2巻■陸軍関係戦犯者名簿1・2

厚生省復員局調査部編[復刻版]

定価 本体 25,000 円 ISBN978-4-89774-314-1

体裁 B5判・上製・総774頁(原本1,548頁。2頁を復刻版1頁に2面付)

■第3～6巻■BC級戦犯裁判・釈放関係資料集

田中宏巳編／外務省外交史料館所蔵資料[編集復刻版]

揃定価 本体 90,000 円 ISBN978-4-89774-315-8

体裁 B5判・上製 総2,300頁(原資料9,200頁。4頁を復刻版1頁に4面付)

全6巻*揃定価 本体 130,000円

ISBN978-4-89774-312-7

緑蔭書房

[消費税が別途加算されます]

■原資料で綴る一九五四年から六〇年までの

初期の原水禁運動のドキュメント。

■戦後日本の平和運動・民衆運動の原点。その貴重な歴史的資料を初めて集大成。

刊行の辞

原水爆 禁止運動 資料集

小林徹 編・解説

第一期「一九五四～五七」四巻＝定価88,000円

第二期「一九五八～六〇」三巻＝定価66,000円

体裁＝全7巻・B5判・上製クロス装・ケース入り
(解説は第一巻・第五巻に収録)

戦後日本の反核・平和運動は半世紀にわたり、国内はもとより世界の平和実現のために大きな貢献を果たしてきた。一九五四（昭和二九年）三月、アメリカのビキニ環礁での水爆実験によって焼津の漁船第五福龍丸が被爆した。核実験に対する反対の声は、広島・長崎の被爆者はもちろん、杉並の女性たちを先頭にあらゆる階層、分野の人々、団体、自治体に広がり全国民的な運動に発展した。原水爆禁止署名運動に参加した二千万人を越える市民の怒りは世界を動かし、ついに翌五年八月、原水爆禁止世界大会が開催された。戦後最大の原水爆禁止署名市民運動はその後の市民平和運動の原点となつた。

本資料集は一九五四年～六〇年の運動の資料を各年一巻に収録、二期全七巻（第一期は一九五四年～五七年、第二期は一九五八年～六〇年）を刊行する。原水爆禁止運動の態様がさまざまに残された資料も多岐にわたっている。ここに収録された資料のすべては、原水爆禁止運動の初期に展開された運動のなかから生みだされたものである。原水爆禁止署名運動・全国協議会や原水爆禁止日本協議会（日本原水協）に寄せられ各地の諸資料、世界大会日本準備会、原水協の内部・組織資料、各世界大会関連資料、故広田重道氏の「平和運動資料」、杉並関係者の資料等の中から精選し、主として運動の時間的経過にしたがつて整理し、合わせて地域的な活動の様相や運動の広がりがわかるように編集した。資料集自体で各年の表と当時の運動の写真（□絵）を収録、更に「昭和二〇年～三年四月原水爆実験等に関する文献一覧表（雑誌記事の分）」（第四巻末所収）を補足し、運動を立体的に理解できるようにした。

本資料集は未開拓の部分の多い戦後日本の平和運動史研究の基本資料となるものであり、戦後の民衆運動史、女性運動史研究にとても貴重な資料といえよう。大いに活用していただきたい。

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

▼虜けられた者の生活と魂の救済に生きたハルの初の史料集

賀川ハル史料集

全3巻

第1巻

I

ハル誕生から神戸スラムへ

II

神戸スラム・横浜時代

1913(大正2)～1923(大正12・9)

第2巻

III

東京本所・松沢時代

1923(大正12・9)～1926(大正15・9)

IV

兵庫・瓦木現・西宮市時代

1926(大正15・10)～1929(昭和4・10)

V

東京・松沢時代 戦前期

1929(昭和4・11)～1945(昭和20・8)

VI

東京・松沢時代 戦後期

1945(昭和20・9)～1955(昭和30)

第3巻

VII

東京・松沢時代 戦後期2

1956(昭和31)～1982(昭和57)

○賀川豊彦献身100年記念

豊彦のよき伴侶であり、最大の協力者であつたハルは、夫と共に社会運動・婦人運動等に尽力した。大正期、神戸のスラムに住み、貧民の救済、伝道活動、関東大震災の救護活動にあたる。同時に、日本で最初の職業婦人・婦人労働者を組織した「覚醒婦人協会」を設立した。三児の母親として家庭を守りながら、戦前・戦後、伝道と社会事業に命を捧げた。

（本書の特色）

◆一八八八～一九八二のハルの生涯を、初公開の日記（新組）、手稿（新組）・雑誌新聞論稿、回想・証言資料・書簡等によつて編年的に再現した。

◆近代女性運動史・福祉・社会事業史・キリスト教運動史の一
次史料。

（刊行概要）

●体裁・頁数——B5判・上製・総一二七六頁

●推薦——瀬戸内寂聴・加山久夫・加藤重

●発行価格——本体八〇,〇〇〇円+税 ISBN978-4-89774-281-6

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

① 賀川豊彦個人雑誌 「大正11年～昭和15年」

雲の柱

② キリスト教ジャーナルの原点 「昭和5年～昭和17年」

神の國新聞

③ 「雲の柱」の姉妹雑誌 「大正15年～昭和35年」

火の柱

④ 平和運動・世界連邦運動の機関誌 「昭和22年～昭和30年」

世界國家

⑤ 初期賀川の実像に迫る 「明治39年～大正3年」

賀川豊彦初期史料集

本誌は、賀川の著作のオリジナルはもとより、その他数多くの隨筆・評論が収録されており、賀川の思想と行動を伝える原資料。賀川研究者にとってはまさに座右の書である。また、近代日本の民衆資料としても第一級史料といえる。

■復刻版(A5判・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
■全19巻・別冊1／本体240,000円

本誌は昭和初期、賀川を中心に日本のキリスト教界が力を結集して全国に展開した「神の国運動」の機関紙。補巻に『神の国運動日誌』を収録した。一九三〇年代の日本キリスト教界の動向を知る重要な資料である。

■復刻版(B5版・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
■全10巻・補巻1・別冊1／本体237,000円

本誌は大正一〇年、賀川が創立した「イエスの友会」の機関誌。「雲の柱」廃刊以降、賀川の足跡を詳細に伝えた。別巻には、「イエスの友会報」も合わせて収録。イエスの友会を知る基本資料。

■復刻版(B5版・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
■全4巻・別冊1／本体74,000円

敗戦直後、賀川は日本を道義的平和国家に導くため、「国際平和協会」を設立。以降、平和運動・世界連邦運動の中心的役割を果した。本誌はこの一連の運動の機関誌であり、今日の世界の平和問題を考える上での大本資料。

■復刻版(A5判・上製 *表紙クロスの一部に色ムラ・色落有り)
■全7巻／本体110,000円 別冊1(別冊は品切れ)

本書は、賀川が神戸の貧民窟において伝道生活・救済事業を始めた時期に書いた「初期日記・ノート類」などの自筆文獻を中心収録。賀川の内面を知る上での根本資料のみならず、社会事業史研究、近代部落問題研究等にとつて大事な遺産。

■復刻版(B5判・上製クロス表装・ケース入り)
■全1巻／本体25,000円

草創期の日本の消防・防災の実情と足跡を記録した貴重な歴史的資料。

大日本消防協会雑誌 全7巻

別巻1

大日本消防協会編〈復刻版〉 鈴木 淳（東京大学大学院教授）解説

原本(創刊号の表紙)



本資料の特色

- 1 消防雑誌の嚆矢である本誌を、創刊号（明治三六年七月）から第七一号（明治四四年一〇月）まで、中断後に再刊した一四冊を含む総六九冊を収録した。
- 2 本誌には、町火消の有名人の紹介、出初式の様子、全国各地の火災事例、第一線の消防の実情など多彩な記事が克明に記録されており、草創期の日本消防の歴史や当時の災害・防災の状況が分かる貴重な文献である。

3 本誌は、消防界の中心的な役割を担つた学者や専門家の論説・論文及び海外情報を数多く掲載。

4 消防行政のあり方を示し、黎明期の日本消防を主導した先駆誌である。

5 本誌には、口絵が多数収録されており、当時の状況をリアルに映し出している。

6 別巻には詳細な「解説」と「目次総覽」「事項別総目次」「執筆者別主要記事索引」を付した。

◆推薦者（五十音順）

秋本敏文／大江秀敏／

岡崎浩巳／襲田正徳／

小林恭一／小林輝幸／

関澤 愛／長谷川彰一

◆刊行概要

■全7巻 創刊号（明治36年7月）～第71号（明治44年10月）

■別巻 解説・目次総覽・事項別総目次・執筆者別主要記事索引

■本体 裁 A5判・上製クロス表・ケース入り・総4,700頁

■定価 橋本体150,000円+税（分売不可）

ISBN978-4-89774-329-5 C3021

緑蔭書房

〔消費税が別途加算されます〕

近代日本に多大な影響を与えた報徳思想と報徳運動の歩みを克明に記録した唯一最大の機関誌。一宮尊徳の報徳思想、日本報徳運動史を知る根本史料。今、その貴重な先人達の足跡を後世に残す。

日本報徳運動雑誌集成

全47巻○別巻1
○収録雑誌 大日本帝国報徳/大日本報徳学友会報/報徳の友/大日本報徳/勸農促進集

■本集成をひたび開いてみれば、様々な観点からの興味が尽きなくなるだろう。近代における中庸と地方の問題、国家政策と民間との関係、日本のアインデンティティ、日本人の行動特性、農山漁村の庶民化、甲子年農學校、系統農會、補習學校、信用組合等がなかった頃にそれらの機能を先駆的に実現した報徳社の可能性と限界、経済的・道徳的危機に陥った時に思想に頼ることの可能性と限界等々……。簡単にはつかみきれない数多くの命題を解きあかす際に、本集成は必ずや手がかりとなってくれるだろう。

■今回 の復刻を契機に、報徳社運動、報徳会運動、報徳運動に対する総合的・客観的な研究の必要性の認識が起ころり、関係科学の分野の報徳の研究者によつて眞に学際的な研究に発展することを願つてやまない。また、研究者のみならず、報徳実践者、報徳に少しでも興味のある方々に、この『日本報徳運動雑誌集成』は、多くの示唆、問題解決の糸口を与えて、実践、研究を深める好材料となるであろう。是非、多くの図書館、関係研究機関で揃えていただきたい。



二宮尊徳像



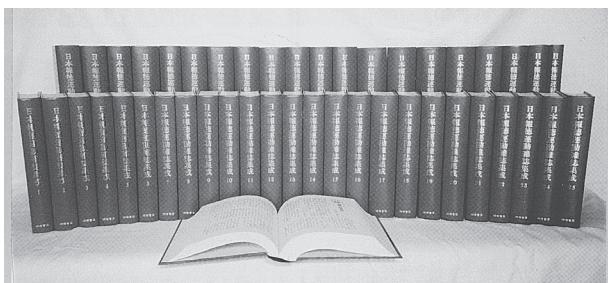
福住正兄



富田高慶



收錄雜



大日本報徳友会報明治37.1~大正8.12 全16卷
報徳の友[大正9.1~大正13.12] 全5卷
大日本報徳[大正14.1~昭和20.12] 全20卷
勸農俚諺集[明治16.7~明治21.5] 全1卷

刊行概要

解題別巻に収録) III 前田寿紀
定価=挿本体940,000円+税(分売不

ISBN4-89774-104-1 C3330 ¥940000

綠蔭書房

「消費税が別途加算されます」

国民精神総動員

国民精神総動員中央連盟編 戦時期の民衆総動員体制を確立した国民精神総動員運動の実態を伝えた機関紙（全60号）を完全復刻。3年間にわたる精勤の動向を記録した貴重な資料。

■全2巻（B4判・上製クロス表）／本体66,000円

大道

米沢和一郎編 堀井梁歩パンフレット 大正末から昭和にかけて農村の疲弊した現実に目を据え、秋田・東京を舞台に農村・農民の自由と解放を目指した。現代農民の魂を描さぶる書。

■全1巻〔全13号〕（A5判・上製）／本体20,000円

農民文学

山田多賀市編 日本農民文学会の機関誌『農民文学』に先駆する第一次『農民文学』の完全復刻版。戦前の農民文学の血脉を受け継ぎ、戦後の日本農民文学史の一時期を画す貴重な資料。

■全1巻〔全9冊〕（A5判・上製）／本体20,000円

原典 中国アナキズム史料集成

坂井洋史・嵯峨隆編 日本に現存する中国アナキズム史料を初めて集大成。中国アナキズムは五四時期の革命思想の前衛的役割を果した。中国近代史・中国近代思想史の再構築に必須の史料集。

■全12巻・別冊1（四六判・上製）／本体180,000円

戦後アナキズム運動資料

戦前・戦後のアナキズム運動の関係者の全面的な協力のもとに、戦後版『平民新聞』や雑誌等の基本資料を収録。戦後のアナキズム運動の全容解明・研究に不可欠な文献であり、唯一に資料。

■全8巻・別冊1（B5・B4判）／本体196,000円

芸艸会雑誌・図書館研究

橋会編・発行 本誌は、わが国初の図書館学校「図書館講習所」の機関誌で、当時の図書館学の学術雑誌として重要な役割を果した。日本の図書館史研究の基本史料。・ケースの一部に色ヤケ・変色有り

■全7巻・別冊1（A5判・上製）／本体95,146円

一隅より／自由人

大正のアナキズム運動に多大な影響を与えた二誌。

アナキズム系文芸・思想の研究に不可欠の資料。

■一隅より〔加藤一夫雑誌〕 自由人叢書1／全6冊（B5判・クロス表）／本体12,000円

■自由人〔加藤一夫主宰〕 自由人叢書2／全16冊／別冊1／別冊1（加藤一夫『震災日記』を収録、分売可6,000円）／（A5・B5判）／削本体28,000円

矛盾

自由人叢書4 五十嵐幸太郎編 執筆者は石川三四郎、小川未明、新居格、秋山清、草野心平、高群逸枝と多彩。日本におけるアナキズムの文学・思想・運動全般にわたる研究の宝庫である。

■全8冊・別冊1（A5判・並製）／本体12,000円

虚無思想

自由人叢書5 吉行エイスケ（栄助）編 ニヒルを中心、大正時代を表現した稀覯雑誌。小川未明、稻垣足穂、辻潤、今東光、萩原朔太郎、宮島資夫など、鋤々たる作家の初期作品を所収。

■全3冊・別冊1（A5判・並製）／本体15,000円

労働青年

自由人叢書9 久板卯之助編 民衆美術運動を創唱した先駆誌。また日本の初期社会運動史の実態を知る貴重な雑誌。執筆者は望月桂、山川均、江渡嶽嶺、和田久太郎、小原慎二、岡野辰之介など。

■全1巻〔全7冊〕（A5判・上製）／本体6,000円

近代婦人

神谷静子編 高群逸枝の『婦人戦線』、延島英一の『解放戦線』に本誌を加えたこの三種の文芸思想誌は、近代女性史、女性解放史、及び高群逸枝を取り巻く女性たちを語る上で不可欠な雑誌。

■全1巻〔全3冊〕（A5判・上製）／本体12,000円

解放戦線

延島英一編 『婦人戦線』の姉妹雑誌。執筆者は加藤一夫、高群逸枝、犬田卯、住井すゑ子、江口隼人など。近代日本の文学・思想・労働・婦人、農民運動の流れを知る上で欠かせない貴重な資料。

■全5冊・別冊1（A5判・函入）／本体12,000円

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	高載頁
日本統治期台灣文學小事典	中嶋利郎編		2005	20
日本統治期台灣文學台灣人作家作品集(全5巻・別巻1)	中島利郎・河原功他編		1998	19
日本統治期台灣文學日本人作家作品集(全5巻・別巻1)	中嶋利郎・河原功編		2008	18
日本統治期台灣文學文芸評論集(全5巻)	中島利郎・河原功・下村作次郎編		2001	20
日本報徳運動雑誌集成(全47巻・別巻1)			1994	42
二宮翁夜話(改版補注)	八木繁樹補注	報徳原典シリーズ1	1994	*
二宮先生語録(改版補注)	八木繁樹補注	報徳原典シリーズ2	1987	*
二宮尊徳道歌集	八木繁樹編著		1983	*
農村教育研究(全3巻・別冊1)	農村教育研究会編		1999	29
農民文学	山田多賀市編		1991	43

ハ

白山図書館学研究	岩源俊郎教授古稀記念論集刊行委員会編		2002	*
BC級戦犯関係資料集(全6巻)	田中宏巳編		2012	37
一隅より(全6冊・別冊1)	加藤一夫編	自由人叢書1	1994	43
火の柱(全4巻)	イエスの友会編	賀川豊彦関係史料双書3	1990	40
秘 暴徒檄文集	琴秉洞編		1995	*
婦人戦線(全16冊)	無産婦人芸術聯盟編		1983	*
文献報国(全12巻)	朝鮮総督府図書館編	日本植民地文化運動資料5	1994	25
報徳運動100年のあゆみ(増補改訂版)	八木繁樹著		1987	*
北窗(全5巻・別冊1)	満鉄哈爾濱図書館編	日本植民地文化運動資料2	1993	25

マ

滿州教育史論集	竹中憲一著		2019	*
「満洲国」の研究(新装版)	山本有造編		2014	15
「満州」植民地中国人用教科書集成(全8巻)	竹中憲一編		2005	17
「満州」植民地日本語教科書集成(全7巻)	竹中憲一編		2008	16
満洲讀書新報(全2巻・別巻1)	満洲讀書同好会編	日本植民地文化運動資料4	1993	25
満洲放送年鑑(全2巻)	満洲電信電話株編	日本植民地文化運動資料10	1997	25
「満洲」における反満抗日運動の研究	田中恒次郎著		1997	*
満洲民族資本の研究	風間秀人著		1993	*
夢幻のごとき	松本一郎著		2011	*
矛盾(全8冊・別冊1)	五十里幸太郎編	自由人叢書4	1988	43

ヤ

葉歩月作品集一	下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成19	2003	21
葉歩月作品集二	下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成20	2003	21
翼賛選挙	大室政右著		2004	*
吉野作造民主主義論集(全3巻)	新紀元社版		1979	*

ラ

陸軍軍法會議判例集(全4巻)	松本一郎編		2011	32
陸軍成規類聚 軍事秘密・別冊	陸軍大臣官房編	「陸軍成規類聚」資料集成2	2010	31
「陸軍成規類聚」研究資料	松本一郎編	「陸軍成規類聚」資料集成4	2009	31
陸軍成規類聚 昭和版(全7巻・別巻1)	陸軍大臣官房編	「陸軍成規類聚」資料集成1	2010	30
陸軍成規類聚 明治版(全3巻)	陸軍大臣官房編	「陸軍成規類聚」資料集成3	2011	31
理藩の友(全3巻)	台灣總督府警務局編		1993	*
ル・ジャンドル台灣紀行(全4巻)	我部政男・栗原純編		1998	23
歴史教育の転換と朝鮮史研究	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集57	2019	*
労働青年	久坂卯之助編	自由人叢書9	1990	43

ワ

鷺巣敦哉著作集(全5巻)	中嶋利郎・吉原丈司編		2000	22
鷺巣敦哉著作集(別巻)	中嶋利郎・吉原丈司編		2002	22
鷺巣敦哉著作集(補遺)	吉原丈司編		2014	22

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	高載頁
『台湾日日新報』近代文学関係作品目録 昭和編	中嶋利郎・横路啓子編		2014	24
台湾文学研究の現在	台湾文学論集刊行委員会編		1999	*
台湾文学の諸相	伊唾之会編		1998	*
『台湾民報・台湾新民報』総合目録(全2巻)	中島利郎編		2000	29
臺灣六法 昭和九年版(改訂増補)	台湾日日新報社編		2000	24
地域からみた朝鮮植民地支配	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集56	2018	*
中国朝鮮族文学の歴史と展開	大村益夫著		2003	*
中国文化情報(全6巻・別冊1)	上海自然科学研究所編	日本植民地文化運動資料6	1994	25
朝鮮王朝と海域交流	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集51	2013	*
朝鮮近現代史における連続と転換	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集31	2003	*
朝鮮近代文学と日本	大村益夫著		2003	*
朝鮮現代史と在日朝鮮人	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集50	2012	*
朝鮮人虐殺関連官庁史料	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料2	1991	8
朝鮮人虐殺関連児童証言史料	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料1	1997	8
朝鮮人虐殺関連新聞報道史料(全4巻・別巻1)	山田昭次編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料5	2003	8
朝鮮人虐殺に関する植民地朝鮮の反応	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料4	1996	8
朝鮮人虐殺に関する知識人の反応(全2巻)	琴秉洞編	関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料3	1996	8
朝鮮人強制労働韓国調査報告(全2巻)	龍田光司編	在日朝鮮人資料叢書13	2016	6
朝鮮人強制労働関係資料(全2巻)	山田昭次編	在日朝鮮人資料叢書5	2012	4
朝鮮史研究会会報 創刊号-100号(全3巻)	朝鮮史研究会編		2008	2
朝鮮史研究会論文集 第1集-第30集(全8巻)	朝鮮史研究会編		1994	1
朝鮮社会と仏教	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集53	2015	*
朝鮮上古史	申采浩著・矢部敦子訳		1983	*
朝鮮植民地化過程の再検討	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集44	2006	*
朝鮮女性史への視点	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集32	1994	*
朝鮮時論(全2巻・別冊1)	朝鮮時論社編	日本植民地文化運動資料9	1997	25
朝鮮総督諭告・訓示集成(全6巻・別冊1)	水野直樹編		2001	12
朝鮮都市論へのアプローチ	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集30	1992	*
朝鮮における宗教と国家	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集43	2005	*
朝鮮における地域社会と国家	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集37	1999	*
朝鮮にとっての「中国」	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集46	2008	*
朝鮮の領域観と自己認識	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集40	2002	*
朝鮮の歴史と現状	高麗社会科学研究会編		1988	*
朝鮮労務(全4巻・別冊1)	朝鮮労務協会編		2000	12
帝国の狭間に生きた日韓文学者	李修京著		2005	*
定本 報徳読本	八木繁樹著		1983	*
転換期における図書館の課題と歴史	石井敦先生吉稀記念論集刊行会編		1995	*
道程 松本一郎著作集	松本一郎著		2014	*
同盟旬報目次総覧(全2巻)	同盟旬報社編		1998	35
特別支援・特別ニーズ教育の源流(全9巻・別巻1)	高橋智・前田博行・石川衣紀編	史料・日本近代と「弱者」1集	2010	28
途上国の経済発展と社会変動	石原享一他編		1997	*

ナ

「内鮮融和」美談の真実	金光烈著		2013	*
二・二六事件裁判原本資料(全2巻)	松本一郎編		2012	33
二・二六事件裁判の研究―軍法会議記録の総合的研究	松本一郎著		1999	*
21世紀の教育をひらく	佐藤広美編		2008	*
日朝関係史への新しい視点	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集41	2003	*
日本音曲全集(全15巻)	中内蝶二・田村西男編		1987	*
日本社会における朝鮮	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集45	2007	*
日本朝鮮研究所初期資料(全3巻)	井上学・樋口雄一編	在日朝鮮人資料叢書15	2017	6
日本統治期台灣文学研究序説	中嶋利郎著		2004	*
日本統治期台灣文学研究文献目録	中嶋利郎・河原功・下村作次郎編		2000	20

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	高載頁
『セチヨン』地方版(全2巻)	鄭栄桓編	在日朝鮮人資料叢書16	2017	6
戦後アナキズム運動資料(全8巻・別冊1)			1998	43
戦後初期在日朝鮮人口調査資料集(全2巻)	長澤秀編	在日朝鮮人資料叢書3	2011	3
戦後日本における朝鮮史文献目録 1945-1991	朝鮮史研究会編		1994	*
戦後日本の朝鮮史学を振り返る	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集48	2010	*
戦時下強制連行極秘資料集 東日本篇(全4巻)	長澤秀編		1996	11
戦時下在日朝鮮人新聞資料 東亜新聞(全3巻)	外村大編		1997	12
戦時下朝鮮人中国人連合軍俘虜強制連行資料集(全4巻)	長澤秀編		1992	11
戦時下朝鮮人労務動員基礎資料集(全5巻)	樋口雄一編		2000	12
戦時下朝鮮民衆の生活(全4巻)	樋口雄一編		2010	12
戦場日誌にみる從軍慰安婦極秘資料集	琴秉洞編		1992	*
戦前 教育科学運動史料(全2巻)	佐藤広美・高橋智編		1997	29
戦前 朝鮮人関係警察資料集 一樺太府警察部文書(全4巻)	長澤秀編		2006	9
総動員(全4巻・別冊1)	国民精神総動員朝鮮連盟編	日本植民地文化運動資料8	1996	25
総力戦体制と障害児保育論の形成	河合隆平著		2012	*

タ

大道一堀井梁歩パンフレット	米沢和一郎編		1991	43
大日本消防協会雑誌(全7巻・別冊1)	大日本消防協会編		2013	41
太平洋戦争開戦前史一開戦迄の攻略戦略	第二復員局残務処理部編		2001	36
太平洋戦争放送宣伝資料(全4巻)	北山節郎編		1997	35
太平洋戦争メディア資料(全2巻)	北山節郎編		1998	34
太平洋戦争メディア資料(続)(全2巻)	北山節郎編		2005	*
『台法月報』総目録	中島利郎・宋宜静編		1999	24
台湾漢文通俗小説集一	黄英哲編	日本統治期台灣文学集成24	2007	21
台湾漢文通俗小説集二	黄美娥・黄英哲編	日本統治期台灣文学集成25	2007	21
台湾戯曲・脚本集一	河原功編	日本統治期台灣文学集成10	2003	21
台湾戯曲・脚本集二	河原功編	日本統治期台灣文学集成11	2003	21
台湾戯曲・脚本集三	河原功編	日本統治期台灣文学集成12	2003	21
台湾戯曲・脚本集四	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成13	2003	21
台湾戯曲・脚本集五	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成14	2003	21
台湾近現代史研究(全2巻)	台湾近現代史研究会編		1993	*
『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録	中島利郎・林原文子編		1998	24
台湾高地先住民の歴史人類学	中村勝著		2003	*
台湾詩集	河原功編	日本統治期台灣文学集成18	2003	21
『台湾時報』総目録	中島利郎編		1997	*
台湾純文学集一	星名宏修編	日本統治期台灣文学集成5	2002	21
台湾純文学集二	星名宏修・中島利郎編	日本統治期台灣文学集成6	2002	21
「台湾新報・青年版」作品集	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成23	2007	21
台湾総督府警察沿革誌(全5巻)	台湾総督府警務局編		1986	*
台湾大年表	台湾経世新報社編		1992	24
台湾日誌	台湾総督府編		1992	24
台湾短篇小説集	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成4	2002	21
台湾長篇小説集一	下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成1	2002	21
台湾長篇小説集二	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成2	2002	21
台湾長篇小説集三	河原功編	日本統治期台灣文学集成3	2002	21
台湾隨筆集一	河原功編	日本統治期台灣文学集成15	2003	21
台湾隨筆集二	中島利郎・下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成16	2003	21
台湾隨筆集三	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成17	2003	21
台湾通俗文学集一	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成7	2002	21
台湾通俗文学集二	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成8	2002	21
「台湾鉄道」作品集一	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成21	2007	21
「台湾鉄道」作品集二	中島利郎編	日本統治期台灣文学集成22	2007	21

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	高載頁
系図文献資料総覧(増補改訂)	丸山浩一編		1992	*
原水爆禁止運動資料集 1954-57(全4巻)	小林徹編		1996	38
原水爆禁止運動資料集 1958-60(全3巻)	小林徹編		1996	38
原典 中国アキズム史料集成(全12巻・別冊1)	坂井洋史・嵯峨隆編		1994	43
興亜教育(全8巻・別冊1)	東亜教育協会編		2000	26
航跡―飯畠正男著作集	飯畠正男著		2015	*
国語創造(全2巻・別冊1)	志垣寛主著		1999	29
国民精神総動員(全2巻)	国民精神総動員中央連盟編		1994	43
国民文学(全12巻・別冊1)	人文社編	日本植民地文化運動資料11	1997	25
「古代朝鮮」という歴史空間	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集39	2001	*
呉濁流作品集	河原功編	日本統治期台灣文学集成30	2007	21
「呉鳳」関係資料集一	下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成26	2007	21
「呉鳳」関係資料集二	下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成27	2007	21

サ

再考・近世朝鮮の対清関係	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集55	2017	*
在日朝鮮警察関係資料(全3巻)	福井譲編	在日朝鮮人資料叢書7	2013	4
在日朝鮮女性作品集(全2巻)	宋惠媛編	在日朝鮮人資料叢書9	2014	5
在日朝鮮人教育関係資料(全3巻)	佐野通夫編	在日朝鮮人資料叢書4	2012	3
在日朝鮮人国勢調査資料(全2巻)	木村健二編	在日朝鮮人資料叢書18	2019	7
在日朝鮮人史研究 創刊号~第20号(全4巻)	在日朝鮮人運動史研究会編		1996	1
在日朝鮮人史資料集(全2巻)	在日朝鮮人運動史研究会編	在日朝鮮人資料叢書1	2011	3
在日朝鮮人社会の歴史的研究	外村大著		2007	*
在日朝鮮人商工便覽(1957年版)	在日本朝鮮人商工連合会編	在日朝鮮人資料叢書2	2011	3
在日朝鮮人生活保護資料(全12巻)	金耿早編	在日朝鮮人資料叢書8	2013	4
在日朝鮮人文学資料集(全3巻)	宋惠媛編	在日朝鮮人資料叢書14	2016	6
在日朝鮮人留学生資料(全3巻)	襄始美編	在日朝鮮人資料叢書6	2012	4
在日朝鮮人にに関する総合調査研究	朴在一著		1979	*
在日朝鮮人の「帰国」政策	鈴木久美著		2017	*
在日朝鮮文学会関係資料(全3巻)	宇野田尚哉編	在日朝鮮人資料叢書17	2018	7
「サンヨンの鐘」関係資料集	下村作次郎編	日本統治期台灣文学集成28	2007	21
「山岳」総合索引 1905-1990	日本山岳会編		1992	*
詩人 尹東柱への旅	宇治郷毅著		1998	*
社会福祉事業論稿	谷川貞夫著		1983	*
周金波日本語作品集	中島利郎・黄英哲編		1998	*
周金波日本語作品集 第二集	中島利郎・莫素微編		2013	*
自由人(全16冊・別冊1・別巻『震災日記』)	加藤一夫主宰	自由人叢書2	1994	43
首都圏 電話情報	東京情報処理研究会編		1984	*
収書月報(全8巻・別冊1)	満鉄奉天図書館編	日本植民地文化運動資料3	1993	25
旬刊台新(全2巻・別冊1)	台灣新報社編	日本植民地文化運動資料12	1999	25
昭和六・七年事変海軍戦史(全4巻・別巻1)	海軍軍令部編		2001	36
女学雑誌総目録	綠蔭書房編		1983	*
植民地朝鮮と日本の帝国支配	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集38	2000	*
植民地朝鮮の民衆運動	大和和明著		1994	*
書香(全8巻・別冊1)	満鉄大連図書館編	日本植民地文化運動資料1	1992	25
職工事情(全3巻)	新紀元社版		1980	*
資料 雑誌にみる近代日本の朝鮮認識(全5巻)	琴秉洞編		1999	10
資料 新聞社説に見る朝鮮(全6巻・別冊1)	北原スマ子・園部裕之・吉野誠他編		1995	10
資料 日本の戦後教育改革(全5巻)	佐藤広美編		1998	29
資料 メディアの中の在日朝鮮人	外村大・韓戴香・羅京洙編	在日朝鮮人資料叢書11	2015	5
清代史研究	石橋秀雄著		1989	*
世界國家(全7巻)	国際平和協会編	賀川豊彦関係史料双書4	1991	40
関口隆吉の生涯	八木繁樹著		1998	*

書名索引

* 印は本書未掲載書籍

書名	編著者	シリーズ名	刊行年	開設頁
ア				
貴女いい生活してるんだって	こだわりつづける女編		1984	*
生きぬいた証に	立教大学史学科山田ゼミ編		1989	*
池田敏雄台湾民俗著作集(全2巻)	末成道男編		2003	*
芸艸会雑誌・図書館研究(全7巻・別冊1)	橘会編		1988	43
オーストラリア国立戦争記念館所蔵旧陸海軍資料目録	田中宏巳編		2000	36
王昶雄作品集	河原功編	日本統治期台灣文学集成29	2007	21
力				
解放戦線(全5冊・別冊1)	延島英一編		1988	43
「解放50年」—朝鮮の分断と統一	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集34	1996	*
解放と分断を問い合わせる	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集47	2009	*
開港前後期 模索する朝鮮	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集54	2016	*
学問から見る朝鮮近代	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集42	2004	*
回想 昭和時代一元陸軍幼年学校生徒の座談会	松本一郎編		2012	*
賀川豊彦研究序説	小南浩一著		2010	*
賀川豊彦初期史料集	布川弘・米沢和一郎編	賀川豊彦関係史料双書5	1991	40
賀川ハル史料集(全3巻)	三原容子編		2009	39
神の国新聞(全10巻・補巻1・別巻1)		賀川豊彦関係史料双書2	1990	40
家庭雑誌総目録	綠蔭書房編		1983	*
神奈川朝鮮学校資料(全2巻)	大石忠雄編	在日朝鮮人資料叢書12	2015	5
華南民族史研究	谷口房男著		1997	*
華南民族史研究(続)	谷口房男著		2006	*
「韓国併合」植民地支配、そして現在	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集49	2011	*
鑑賞文選・綴方讀本(全16巻・別巻1)	中内敏夫監修		2006	27
関東大震災朝鮮人虐殺裁判資料(全2巻)	山田昭次編	在日朝鮮人資料叢書10	2014	5
『韓国民主主義』批判	尹秀吉著		1984	*
企業の担当者が書いたメンタルヘルス職場事例集	精神衛生普及会編	綠蔭新書1	1989	*
希望の経済	松尾野裕著		2019	*
教育科学(全4巻・別冊1)	教育科学研究会編		2000	29
教育新聞(全71号合本)	志垣寛主宰		1999	29
共済事業の源流をたずねて	和田武広著		2019	*
虚無思想(全3冊・別冊1)	吉行エイスケ編	自由人叢書5	1989	43
協和運動(全20巻・別冊1)	満洲帝国協和会編	日本植民地文化運動資料7	1995	25
協和会関係資料集(増補新版・全5巻)	樋口雄一編		1995	*
金玉均と日本(増補新版)	琴秉洞著		2001	*
近現代朝鮮における「戸籍」と境界	朝鮮史研究会編	朝鮮史研究会論文集52	2014	*
銀行局報告(全49巻)		財政金融史料集成1	1985	*
銀行総覧(全49巻)		財政金融史料集成3	1986	*
銀行便覽(全5巻)		財政金融史料集成2	1985	*
金鑑漢全集	藤石貴代・大村益夫他編		2005	*
近代朝鮮社会事業史研究	慎英弘著		1984	*
近代朝鮮文学日本語作品集1939-45 創作篇	大村益夫・布袋敏博編		2001	13
近代朝鮮文学日本語作品集1939-45 評論・隨筆篇	大村益夫・布袋敏博編		2002	13
近代朝鮮文学日本語作品集1901-38 創作篇	大村益夫・布袋敏博編		2004	13
近代朝鮮文学日本語作品集1901-38 評論・隨筆篇	大村益夫・布袋敏博編		2004	13
近代朝鮮文学日本語作品集1908-45 セレクション	大村益夫・布袋敏博編		2008	13
近代日本人の朝鮮認識の関する研究文献目録	岡部裕之編		1996	*
近代日本のアジア認識	古屋哲夫編		2001	14
近代婦人(全3冊合本)	神谷静子編		1991	43
雲の柱—賀川豊彦個人雑誌(全19巻・別冊1)	雲柱社編	賀川豊彦関係史料双書1	1989	40

